043412-000-2

特54-90

商工家業

松岡 峴次郎／編

M29

BDL-0381

神

七十七百

池

名後

八杜

来工

帰

不亟三十

倭寄原富

均分会問

走一部

商工家業目次

呉服太物商類

中村宮大古小川小亀川櫻母長
井田川原村原森道井岩澤
治兵衛　勇兵衛　源八郎　平治右衛門　徳次兵衛　嘉民吉　又八郎　善助　嘉助　福太郎
與米兵衛　與亦兵衛　清正助　虎助

百三拾六頁
百三十一
百五
三拾六
三拾七
二拾
百三拾二
二拾六
五拾八
八十
百三拾三
五拾三
外三拾八人

旅舘ノ部

六拾頁

中村瀬
成井
杉本
照代
小谷
綾田
熊田
吉田
柳谷
高庭
佐藤

四
六拾五
六拾五
四拾七
百四拾四
百二
五拾八
百九十六
九十六
百九拾八
八拾八
外四人

菓子商ノ部

三拾一頁
三十
百三十八
十二
三十八
百二十二
二十六
八十八
九十
百二
百四
外五拾九人

小間物ノ部

三十四頁
八
百十
四十
百十六
二十七
百十九
外百五十五人

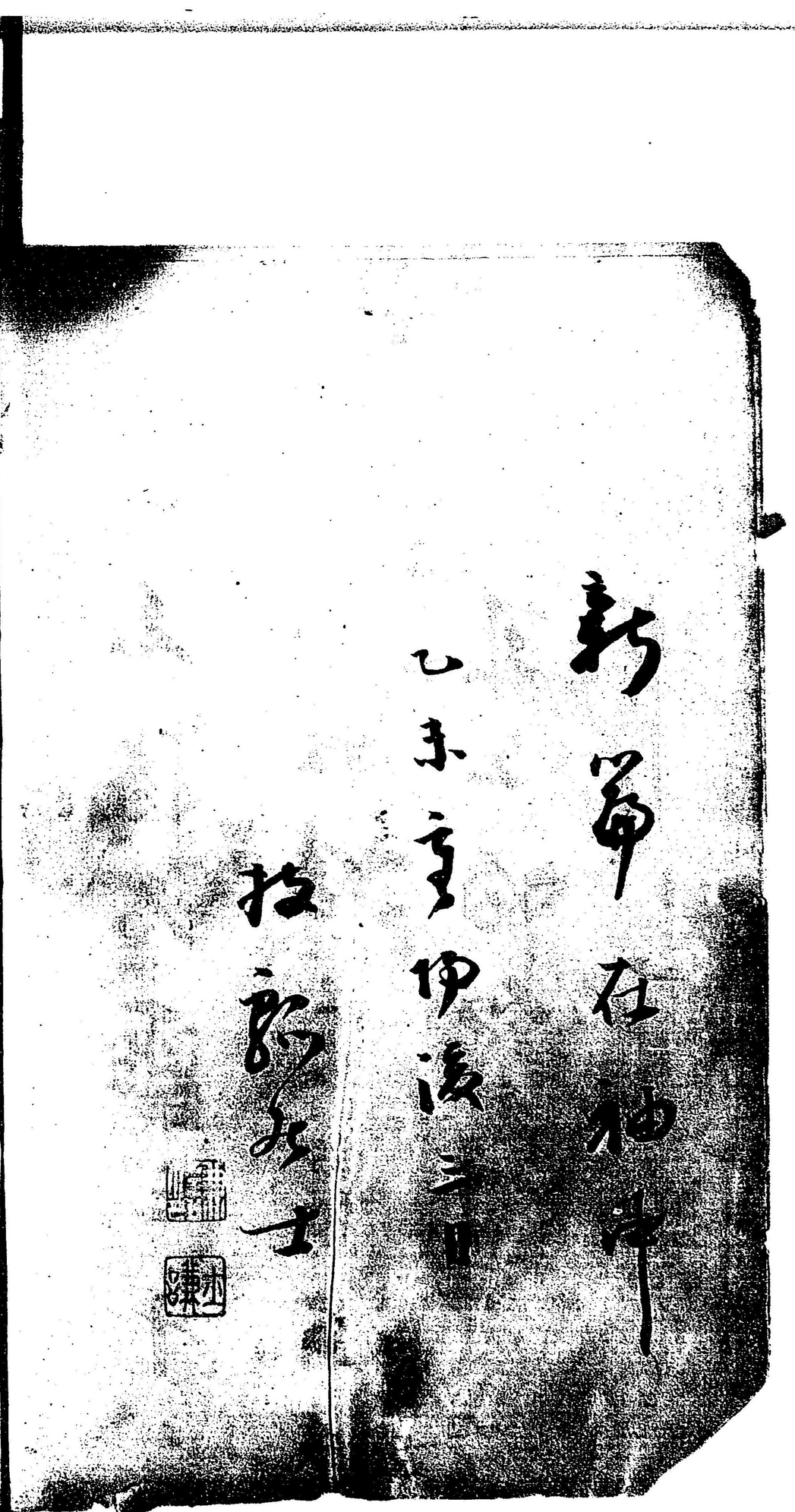
米穀荒物鹽ノ部

九十八頁
九拾五

藤松阿菊櫻大松吉大金伊平
島田部池田本森田藤野
長徳重松重辨公金徳新濱清
兵衛吉治衛堂藏助郎衛郎郎衛治衛
池野松平吉菊藤
原池田野本村野
藤豐與常太松長
兵次兵兵
衛吉郎郎衛治衛

九十四拾七十二

森阿内吉
藤部田
九喜祐豐
兵
衛衛吉八



七十五　平野屋　常吉
百四十六　江刺家村　荒川　助
七十九　女川　嘉藏
百三　末高
外九十人

八十一頁　清酒類ノ部

七十三　川口屋　千藏
四十二　關平　右衛門
九十五　村井　八郎
七十四　源太　次郎
七十七　市兵衛
百七　宇吉
四十二　淺次郎
百　金藏
五十六　佐々木　徳次郎
外七十五人　佐々木村　女

百貳　煙艸製造小賣ノ部
四十八　村上　元十郎
百三十九　水原　庄兵衛
二十一　長岡　半四郎
百四十五　島田　權登

青物乾物果物商ノ部

四十一頁　栗原　孝治郎
六十一　高橋　伊兵衛
九十四　吉田　倉藏
百十六　太治兵衛
九十七　信藏
百十七　平八

乳屋
百二十一　滋賀　成舍
外五人

靴屋ノ部
八十六　對島　常政
外四人

獸肉店
百三十五　八重樫　又藏
外二十二人

古道具古金銀商ノ部
百四　小田島　德太郎
外四十人

木地挽ノ部
四十六　松田　清次郎
外五人

筆屋ノ部
四十六　宮　安太郎
外三人

表具師ノ部
四十七　櫻田　與助
外九人

粉奈屋ノ部
四十七　藤島　源太郎
外四十五人

裁縫屋ノ部
五十五　山田　德治
外三十六人

大根切ノ部
百八　廣益　社
林檎栽培ノ部

七拾六　大澤　善治
三拾八　櫻田　重助
八拾　金澤　長次郎
外　度量衡ノ部

八拾二　佐藤　保治
六拾七　古川　平藏
外　材木商ノ部

百六　外川　又藏
七拾八　太田　周助
外　運輸ノ部

四十六　成瀬　米吉
外二人　運通會社　支店

味噌醬油ノ部
五十九　池野　權治
四十三　平助

九十六　井上　喜太郎
外百一人　照

繪物指物ノ部

五十四　季村　理平
五十五　熊谷　岩之
六十九　村田　專治郎
外二十九人　卯吉　德八

海産物

六十二　宮川　新松
九十二　伊藤　秀次
六十四　小原　安藏
百八　伊東　善八郎
六十　東原　秀
外七拾二人

料理屋ノ部

百十二　松本　三
百十三　八中　芳
百十四　權藏　丸
百十五　谷村　瀬
百二十四　和佐　溫
百二十五　太吉　松
百四十　七郎　半
六六　吉　六

馬匹商ノ部

百十　上田　亭
百十一　川　屋
百十二　の　竹
貳　屋　泉

外百九人
川魚諸島ノ部
九十一　吉田
九十七　佐藤
外三十九人
時計屋
三十八　玉川
二十八　村置
外二人
砂糖茶ノ部
百三十三　岡田
二十七　金子
外三十五人
糸屋ノ部
五十　齋藤
二拾六　龜ケ
外二十七人
染彩ノ部
四十九　吉田
二十五　鈴木
三十六　山本
外三十三人
陶器畫工ノ部
二十二　國分
五十一　吉田

百拾六　鈴木　才助
外拾五人
鐵瓶ノ部
百拾八　高野　鐵之助
十七　村橋　吉藏
五拾二　成浦　米藏
四　野口　萬次郎
外　平野　常次郎

百三十一　村井　源之助
拾九　金谷　太次
外二人　大熊　一郎
筆墨紙屋ノ部
三拾四　池田　常吉
八十四　赤澤　源太
八拾七　平野　次郎
外　箱崎　金千代
鐵物ノ部
拾四　池野　藤兵衛
百拾八　高野　吉八
十七
外四拾八人

六　天野　眞源
三拾三　大川　太之助
百四十一　金島　輔
拾九　熊谷　次郎
外二人　村井　一郎
葉屋
百拾八　瀬田　德之助
十八　村橋　萬次郎
五拾二　野口　重吉
四　高野　米藏
外　鈴木　德次郎

百拾六　平野　常次郎
外拾五人
鐵瓶ノ部

醬麥店
百二拾五　山北　便東群　益北書　三　堂堂堂　潮藏
九拾
外三拾八人
書籍店ノ部
八拾五　岡高山　田橋屋　壽信昌　樂三二郎
拾一
外三人
醫師ノ部
盛岡市紙町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　産科　内外科
餌差小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
大清水小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
吳服町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
大仁王小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
日影門外小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
大清水小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
穀町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
大清水小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
仙北町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
内加賀野小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
鉈屋町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
吳服町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
大清水小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
日影門外小路　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科
紺屋町　内科　内外科　外科　内科　内外科　内科　眼科　内科　婦人科　内外科

寫眞師ノ部
九　稻葉　眞一
百二拾二　及川　一之
百二拾二　中谷　祐
外三人　小野　太一
銅鐵業ノ部
七十　池田　信一郎
三　坂本　時一郎
長谷川　成
象谷　江
三　平岡　祐之
圓　吉田　道城
土　子之吉　郎
江　岐阜　伯
三　家　信
肉　浦　
刺　村　
俄　
權　吉田　秀
瓦　源太郎　昌
源　昌吾　直
自　政一　宗
春　自　龍
三　習　乘
準　次　
俊　太　
乘　郎　
龍　成　
宗　郎　
直　
昌　
秀　

七戸　馬場　加賀見五楓
梅内　可香谷川菊舟
土村　温水　日澤梅二

仝	鍛冶町	仝外科	
仝	仙北町	内外科	
仝	新穀町	内外科	
仝	内加賀野小路	内科象整骨科	馬平一
仝	六日町	針治	遊佐山今山岩
仝	内加賀野小路	歯科	々
仝	新田町	仝	塚戸坐木屋里田間
	俳諧師	盲聾唖醫	成省紹綱茂　六昌
			之三直記人茂郎兵

土岐梅窓
新渡戸遙雨

公園地

公園地ハ中津川ノ西岸縣廳ノ東ニアリ東西四丁南北三丁許リ中央ニ大ナル假山アリ瓢山ト云フ傍ニ小池ヲ穿チテ多クノ鯉鮒ヲ放ツ池畔ニ沿ヒ二三ノ亭榭アリ其中央ニ方リテ招魂社アリコレ維新ノ際王事ニ命ヲ致シタル目時中島二氏及西南ノ役國事ニ斃レタル志士朝鮮事變殉難者ノ靈ヲ合祀セルモノナリ祭典ハ毎年五月一日二日ヲ以テ之ヲ施行ス園内櫻樹多ク春風駘蕩ノ候士女ノ來リ遊フモノ群ヲナス此櫻樹ハ前キノ縣令島君茲ニ東西兩京ヨリ之ヲ移植セシモノナリ其類種々ニシテ紅白黄色アリ舶來種アリ七重八重アリ樹數殆ンド幾百株ナルヲ知ラス而シテ島君縣治中ハ僅ニ數尺ノ稚木ナリシカ星霜ヲ經ルヤ數年今ヤ蔚然繁茂シテ合抱ノ巨材トナリ枝ハ枝ト交叉シテ鬱蒼タリ花時滿開ノ候爛熳タル光景ヲ望メハ宛モ白雲ノ靉ク カ如シ信ニ墨堤ニ遊フノ觀アリ

地藏尊

地藏尊ハ市内寺ノ下長松院ニアリ緣日ハ六月二十二日十二月二十三日ナリ本尊ハ元聖壽寺ニアリシカ該寺ハ南部侯ノ靈屋ニシテ常人ノ猥リニ參詣スル能ハサルヲ以テ大輪和尚長松院ヲ開山シテ萬壽山ト稱ス然レトモ本体ハ猶聖壽寺ニアリトヲ領シ結搆美麗伽藍壯嚴ナリシカ明治十七年ノ大火ニ罹リ堂宇伽藍共ニ烏有ニ歸セリ近頃本堂ヲ建立セシモ惜ムラクハ從前ノ十分ノ觀ヲ呈セス

近隣ハ千手院涼源寺大慈寺祇陀寺臨江庵久昌寺永泉寺ノ伽藍アリ

青龍山祇陀寺ハ報恩寺末山曹洞宗ナリ元南昌山下ニアリシカ後馬町ニ移レリ何レノ頃ニヤ寺ノ下ニ轉シタリト云フ古老ノ談ニ往時當寺ノ地ハ丘陵起伏樹木蒼々トシテ沼澤アリ夜火飛ヒ白氣躍リ狐狸ノ巢窟ニシテ絶テ人ノ通行スルモノ稀ナリシカ徃々南昌山ヨリ青龍飛ヒ來リテ沼池ニ浴セシト云フ青龍山ノ號之レヨリ出ツト

石油水油
ランプ
硝子板
マッチ商

盛岡市肴町
御幸新道角

内山仁助

全國第一ノ優等品京都時計製造會社
製時計特約廉價大販賣

一週間卷
ポン〳〵時計

第四回内國勸業博覽會

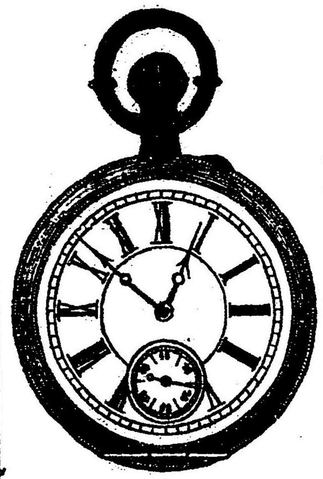
有功二等賞

京都時計製造會社

捲て時計の裏には
の商標張付有之候

盛岡市肴町

大日本全國保險同盟店 玉置萬次郎



懐中時計類
各種附屬類
各種眼鏡類

御茶類
西洋酒
攝州灘酒
名産鐵瓶
商分
岩手縣盛岡市肴町
成瀨米吉

旅人宿
鐵道積荷物
運送業
分
岩手縣盛岡市肴町
同停車場前
成瀨米吉

○弊本店ハ市街中央ニシテ何レノ御用向モ御便利ノ場所ニ御座候
○同支店ハ停車場ノ眞向最近ノ場所ニテ御乘車至極御便利ニ御座候

稻荷堂ハ愛宕山ノ中腹東北面ニ在リ山麓ヨリ社前ニ至ルマテ長キ石階アリ松柏鬱蒼紫藤高樹ニ纏ヒテ蜿蜒トシテ宛モ蛟龍ノ飛舞スルカ如シ其傍ニ岩穴陰々タル處アリ春夏ノ候ニ至レハ杖ヲ曳クモノ常ニ絶ヘス元祿十二年南部侯此ニ火藥庫ヲ設ケ岩窟ヲ穿チテ之ニ銅扉ヲ備ヘ嚴重ニ守護セシ所ナリト云フ又南麓ニ岩窟アリ靈泉湧出シ諸病ニ効驗アリト稱ス此邊御藥園小町社午房長根等ノ名跡アリ小町社ハ御藥園ノ邊ニ在リ有名ナル古鐘アリ舊記ニ曰ク元祿十五年釜石浦ノ漁夫藩公ニ獻セシモノニシテ銘ニ大和元祥トアリト即チ東漢ノ年號ニシテ皇國ノ仁德天皇五十四年ニ當レリ實ニ天下ノ至寶ナリ全國實物取調委員出張ノ時之ヲ見テ賞嘆措ク能ハサリシト云フ

此地ハ京極丹波守高國ノ配所及ヒ願敎寺ノ舊地ナリ殊ニ往時鎌倉街道ノ有リシ處ナリト云フ

岩手山遠望

岩手山ハ陸中第一ノ高山ニシテ四時積雪ノ絶ユルコト稀ナリ社ハ盛岡城ノ西北五里十八町岩手山ノ頂上ニ在リ其形ノ似タルヲ以テ一ニ南部富士ト稱ス高サ七千八百尺餘アリ祭典ハ毎年舊五月二十五日ヨリ三日間ニシテ市内材木町茅町邊ハ頗ル賑ヲ極ム貞保年間此山破烈セシヲ以テ山巓今尚噴火口ノ跡ヲ存ス其四處ニ岩手山神社アリ二尺方面ノ石殿アリ桓武天皇延暦十年坂上田村麿東夷ヲ征シタルヤ親シク勸請スル所ナリ後冷泉帝康平五年源頼義安倍貞任宗任ヲ征伐スルヤ勝敗久シク決セサルニヨリ武運長久ヲ禱リシト又源頼朝泰衡ヲ征討スルヤ之ヲ祭リテ効驗アリシト云フ頼朝即チ工藤小次郎行光ニ岩手郡ヲ與ヘ之カ社掌タラシム行光ノ子孫栗谷川氏ト稱シ今ニ至リテ之ヲ司ル當山ハ古來ノ名處ナルヲ以テ之カ詩歌ヲ作ルモノ甚多シ

ぬし見ても富士とやいはん陸奥のいはての山や噴時雨らん
くちなしの一人染の薄紅葉いはての山に年をへてくちやはてなん
思へともいはての山に年をへてくちやはてなん谷の埋木
人しらぬ涙の門のみなかみはいはてなやまの谷ふした水
岩手山いけてかからの身のはては思し如く誰かつけまし
色見へて思ふこゝろは年を經ぬ岩手のやまの楓の葉の露
城作平の狂歌あり
白雲の峰にかゝれる折りくはさかから富士と岩鷲山

定爲家家
影輔
顯照
法師
由應人
清

○醫療器械　○繪具染料
○○百工用藥　○有効賣藥
○藥用阿片特許賣藥

和漢洋藥品

○角倉製燻牛痘苗一手販賣
○○洋酒鑵詰　○萬小間物
○○筆墨紙類
帝國生命保險株式會社盛岡代理店

盛岡市肴町三丁目
村井源之助

富久鯛
志和酒
四季の友
忍冬酒

右酒類卸小賣仕候間四方の諸君陸續御購求被成下度奉願上候以上

盛岡市肴町
平野淺吉

和洋小間物
洋傘帽子類
筆墨紙類

右之外種々御小賣致候間何分精々廉價に差上可申候仍て多少に不拘御買求被成下度偏に奉願上候以上

盛岡市肴町壹丁目
野村豐治

早取專門寫眞廣告

各位益々御萬福大賀之至り奉存候陳者今や寫眞術の日ゝ月ゝ駸々乎として進歩いたし同業を亦競ふて新式に注目の時節に候得者小生も曩に歐米各地に於て研究仕候新法ゝ一層の考案を加へ是迄東京市本鄉區に於て營業罷在專心練磨仕候所幸にも大方ゝ御愛顧を辱ふし小生ゝ窃ゝ悦ふ所に御座候然るに今回盛岡某氏の勸誘に接し候ゆゑ業務擴張のた〳〵盛岡市に寫眞場新設永住仕各位撮影の貴需に可應候間何卒御來寫あらん事を伏て奉願上候也

一紙寫手札形　一仝二枚掛　一中判カビチット形　一仝六ツ
一仝八ツ其外大判　一光澤寫眞　一アリスト寫眞
右御好次第調製可仕候也

盛岡市八幡町開横町
勉強堂寫眞師
寫眞館　岡田壽樂

○村木經策編著

◎地久節　金貳拾錢
◎皇后陛下御誕辰祝歌譜　同貳錢
◎日本女學　同五錢
◎女學策　同五錢
◎女學校　同五錢
◎女生勉學の針路　同五錢
◎吾黨の女子教育　同拾錢
◎家政要旨　同五錢
◎人日の祝ひ　同參錢
◎ひゝな遊ひ　同參錢
◎端午の祝ひ　同參錢
◎七夕まつり　同參錢
◎重陽の祝ひ　同參錢
◎節　句　同拾錢
◎皇朝歷鑑　同六拾錢

○女子必讀之書

男子ニテモ教育關係者ニハ一讀ノ價値アリ

盛岡市八日町
編輯所　群書閣

廣　告

訂正增補再板 **巖手縣名譽錄**　十二月三日出版
豫約價金十五錢

繪入盛岡市街全圖
一部金六錢五厘

盛岡市一覽　一冊定價金六錢

盛岡禁草　十二月中出版

新聞雜誌書籍店　盛岡中橋通り　**東北堂**

盛岡名物

豆銀糖
黄精飴
片栗落雁
砂ノ實糖

歐米風パン類
折詰上等生菓子類
砂糖漬鑵詰類

御進物等ハ何レモ御便利ニ調進仕候

其他御法事菓子類ハ極テ大勉強特別ニ御相談ノ上何程御遠方ニテモ速ニ御送付可致候

製造大販賣店

盛岡市中ノ橋通リ
松華堂 菊池支店

同本町
松華堂 菊池本店

同市花屋町寺小路西側
松華堂 菊池支店

中津川三橋

中津川ハ市ノ中央ヲ貫流シテ北上川ニ入ル橋ヲ架スル凡ソ五條就中上中下ノ三橋ハ最モ有名ナルモノナリ十二代南部政行公嘗テ後村上帝ニ吉野ノ行宮ニ伺候セシ時春ニ當リ鹿ノ鳴クアリ衆皆不祥トナス帝政行ノ和歌ニ長スルヲ聞キ命シテ之ヲ詠ヲ鹿鳴ヲ止メシム政行即チ之ヲ上ル春霞秋立霧よまかはねば思ひ忘れて鹿や鳴らん

帝大ニ感賞シ松風ノ硯ヲ賜ヒ且曰ク爾田舎ニ生長シ而シテ風流ヲ好ム宜シク加茂川橋欄葱實珠ヲ擬シ其風景ヲ寫シ生ヲ樂シムベシトノ敕言ヲ賜フ其後政行公三戸城ニ歸リ熊原川ニ橋ヲ架シ擬寶珠ヲ鑄テ欄干ニ之ヲ用フ「青銅ヲ以テ鑄銘字ハ皆黄金ヲ鍍ム」盡シ京都加茂川橋欄ニ擬スルナリ抑モ葱實珠ハ諸侯猥リニ之ヲ用フルヿ能ハズ是ヲ以テ時人相傳テ無上ノ光榮トナセリ慶長年間利直公居城ヲ盛岡ニ移サルヽ時新ニ葱實珠ヲ鑄替テ中津川上中下ノ三橋ニ備ヘ後以テ特例トナスト云フ寛永年中洪水ノ爲メニ下ノ橋流失シ當今葱實珠ハ上中ノ二橋ノミニ存セリ因ニ云フ嘗テ上ノ橋ヨリ下ニハ山城井手ノ蛙ヲ放チ飼畜セシト云フ故ニ今其玲瓏タル聲ヲ聞クハ則チ是ナリ

願教寺

北峰山願教寺ハ市ノ北方北山ニアリ眞宗本派ニ屬スル大伽藍ナリ規摸ノ宏大結構壯嚴ヲ極ム本尊ハ阿彌陀佛ニシテ親鸞上人ノ眞影ヲ安置セリ開基ハ源三位賴政ノ末裔ナリ當寺ハ其昔中津川ニ沿ヒタル愛宕山下ニ在リシカ河水氾濫屢流失ノ憂アリシヨリ此ニ移セシト云フ嘗テ靈承院少將利濟公幼少ノ時當寺ニ僧タリシコトアルヲ以テ一層ノ美觀ヲ增セリ維新後稍衰微セシカ市中ノ有志者相謀リ同宗ノ島地默雷師ヲ聘シテ住寺トナセシカハ勢力以前ニ增シ歸依スル者甚タシ寺内ニハ妙誓寺眞行寺ノ二坊アリ又自由黨ニ於テ鏘々タル鈴木舍弟君ノ碑石アリ

諸金物
鉄鋼商

盛岡市肴町
木津屋
㊫ 池野三次郎

改良旅館

盛岡市肴町
杉本與兵衛

改良旅館

同停車場前
杉本支店

吳服太物商

盛岡市肴町

久子根

則古川源兵衛

諸國銘茶

和洋紙類

學校用文房具

盛岡市肴町

綠筠堂

㊀平野金八

其他茶器類販賣仕候總テ卸小賣トモ勉强廉價ニ賣上可申候間陸續御購求被成下度奉願上候也

諸國鍋釜類
鑄物一式販賣

盛岡市肴町
製造人
商 野村重吉

金牛鉄馬

牛馬除毒散

牛馬疫殊ヨ馬のかさなへら食毒すつけ下し

本劑ノ組織ハ貴重ナル健胃、强壯、除毒、下泄、緩和等ノ藥材ヨリ因テ病毒ヲ驅除シ二便ヲ通ジ食氣ヲ進メ躰軀ヲ强健活潑ナラシムル實地經驗ニ徵シ將タ學理ニ照スモ毫モ疑フヘカラズ

盛岡市肴町三丁目御幸新道角

藥劑師 天川半治郎監製

定價
七日分 金三拾錢
一日分 金五錢

送料
七日分 金四錢
三日分以下 金貳錢
三日分 金拾五錢

呉服太物類　船來織物類　裁縫品各種
古着類各種

盛岡市肴町徳田屋
川村徳助

右品質精撰充分廉價ニ調進仕へく候間倍舊ノ御愛顧ヲ以テ多少ニ拘ハラズ御用向被仰付度奉希候
染物仕立物御注文ハ如何様トモ御好次第迅速ニ調進可仕候
○流行最新柄肩掛膝掛新形トンビ羅紗角袖羅紗モギリ各種右新着仕候御用命奉願上候也

二十

各國煙草仲買小賣
荒物傘油濫紙類
柳竹行李類大販賣所

盛岡市肴町中橋通
亀島權四郎

二十一

のはらせんべい
豆銀糖
松の實糖　菓子製造人
煉羊羹
かそていら

外に和洋御菓子廉價に賣上候也

盛岡市中橋通松月堂

松本久吉

各國
陶磁
器蒐
集販
賣所

盃
紋様
燒
附
師

弊堂ハ全國有名ノ陶磁器製造窯土元ヨリ直接ニ取寄セ販賣仕候間珍奇ノ器物種々有之候爲メ普通瀬戸物屋トハ其觀ヲ異ニス何品ニ抱ラス書畫紋様御好ミ次第速カニ調進仕候御來盛ノ諸君ハ何卒御來覽御熟覽ノ上御注文又ハ御購求下サレ度候
今回（盛岡みやけ）ノ發行ニ伴ヒ弊堂製ノ盃ハ是非共御みやけニ御買入被下度本統ニ願上候

大略

○飲食器一切○裝飾器一切○京都名産陶器手遊物函、庭物陶器○門札及窯系製造機械用陶器硝子○薩摩燒モ著荷罷在候
○劍道具及附屬品一手販賣

盛岡市中橋通肴町崎去來堂

褒賞下賜

國分一官

山王山

山王社ハ市ノ東十町許リノ山頂ニアリ里東顯寺百目木谷屋敷森ノ森明王院里東顯寺白瀧岩山梅屋敷谷屋敷椎坂等ニ通スル路傍ニシテ近年公園ノ設クアリ春風駘蕩ノ候梅花馥郁騷人黒客來遊スルモノ多シ山下ニハ清水アリ盛夏ノ候一掬以テ苦熱ヲ忘ルヘシ山上ニハ樹亭二三アリテ休息ノ便ニ供ス山上四顧スレハ其絶景譬フルニ物ナシ西ヲ望メハ全市盡ク寸眸ノ中ニアリ而シテ南ハ八幡宮ノ靈地ニシテ北ハ住吉神社ノ幽翠ナリ其後方ハ即チ岩山ノ勝地ナリ

附近尾崎大明神藤ケ森明王院里東顯寺百目木谷屋敷森ケ森楓ケ森等ノ名跡アリ
尾崎大明神ハ山七山下ニアリ元文四年八月南部利視公閉伊郡巡見ノ際端艇ニ乘リ釜石ノ尾崎大明神ニ參詣ス會々大雷雨ニシテ舟殆ト沈沒セントス忽然一ケノ青石舟中ニ入リタリ之ヲ收メ明神ト崇メ祭レリト云フ

藤ケ森ハ尾崎社ノ東南ニ在リ元錄十一年ノ頃御殿茶屋ノ設クアリテ楓樹藤葉交叉シテ頗ル美麗ヲ盡シタル遊覽ノ地ナリシガ維新ノ際盡ク瓦解セリ

八幡宮

縣社八幡宮ハ延寶七年南部行信公ノ建立ニシテ應神天皇ヲ祭レリ元盛岡三社ノ一ニシテ新八幡大菩薩ト號セシガ元錄十六年幕府ノ祭典所トナリ寶永六年利視公更ニ八幡宮ト改メ殊ニ稟米五拾石ヲ寄附セシト云フ祭日ハ九月十五日ナリ社内ニハ雷堂新羅堂神樂堂三十三間堂アリ寶物ハ御神輿御託宣ノ御幡御筆ノ幡等アリシカ明治十七年回錄ノ災ニ罹リシモ神輿其他ノ寶物ハ之ヲ保存スルヲ得タリ近頃再建シテ本殿神樂殿石柵石鳥居等ヲ作レリ

第一ノ華表ノ扁額ハ藤原季孝卿ノ揮毫ニ係レリ

燈籠裏石手洗石岩鷲山碑等アリ金燈籠ハ其昔各町内ヨリノ寄進ニ係レリ又手洗石ハ郡山ヨリ運搬シタルモノニシテ共ニ有名ノモノナリ

祭事ハ例年渡御ノ式アリ二夜三日ノ祭典ニシテ神樂七軒町其他種々ノ興行アリ又山車手踊大行燈等ノ催アリテ其賑カナルコト言ハン方ナシ近鄰近在ヨリ參詣人夥シク肩摩轂擊行人識ルカ如ク其光景一々名狀スヘカラス實ニ縣下第一ノ大祭典ナリ

附近春日社神明社稻守稻荷梅津太明神淺香稻荷明王院等ノ名跡アリ

傘類
塗物類
組附草履商
鼻緒類
下駄類

右品類廉價ニ賣上候間四方ノ諸君倍舊ノ御愛顧ヲ以テ
陸續御購求ヲ偏ニ奉希候以上

盛岡市肴町小田屋

川道喜八

拙店從來染彩ニ從事スル數百年決シテ僞染不仕一意專心正眞不變色武州精藍ヲ以テ
染彩仕候ニ付得意樣之御好評ヲ博居候間御懸念ナク御誂被成下度
當時流行ノ友禪染並ニ裾摸樣定台小紋圖旗入念染彩仕候間多少ニ限ラズ御用向ノ程
準備上候也

改良南部紬並ニ地織和木綿織出所

盛岡市肴町

加賀屋多兵衛

拜受
二伸弊店織出ス各種織物及ヒ木綿並ニ紬類等決シテ永世變色ノ患ナキハ勿論各色共
請合正眞染ニ御坐候間御引立ノ程偏ニ奉希候以上

呉服太物
綿繰絲
古着類

盛岡市肴町壹町目

舎 吉田金太郎

外和洋御菓子類
一かすていら
一栃の實糖
一片栗落雁
一煉羊羹
一豆繰糖

盛岡市肴町

亀森又兵衛

茶舗

盛岡市肴町

金子屋

萬小間物類
煙草砂糖商
毛絲類

菊地松吉

鐵源堂廣告

電氣機械類製造販賣
外ニ東京田中製造機械大販賣

時計各種

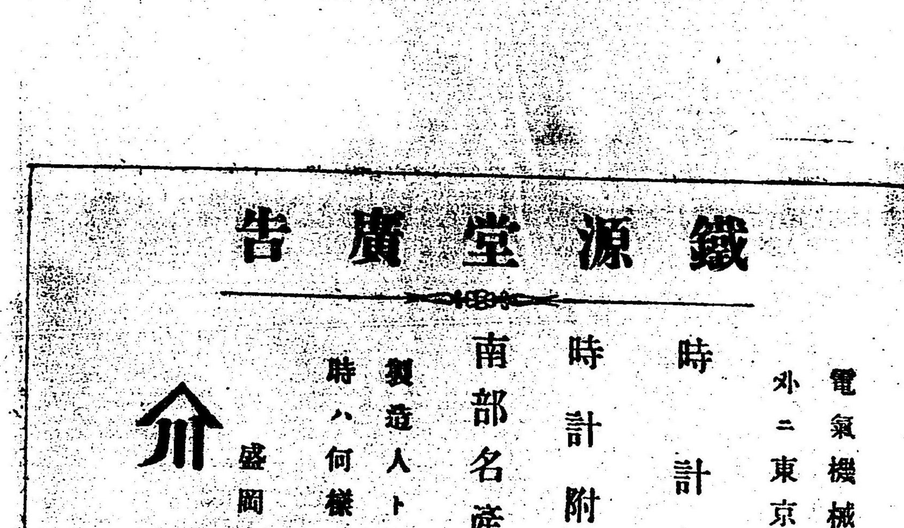
時計附屬品各種

南部名産鉄瓶大販賣

製造人ト特約仕置候間御注文之
時ハ何樣ニテモ出來差上可申候

盛岡市肴町

川村徳治



片葉鼓

片葉ノ鼓ハ虎兵山龍谷寺ニ在リ鼓葉悉ク一樣ニ偏シ普通ノ鼓ト異ナルモノハ實ニ名稱ノ因テ起ル所ナリ往時未開ノ頃中津川ハ愛宕山下ヨリ松阪ヲ過ギ名須川赤川ヲ流レテ古川ニ注ギタル大河ナリ昔テ千鳥浮ビ紅葉流レ頗ル風景ニ富メル地ナルヲ以テ千鳥川紅葉川名須川赤川等ノ稱アリ之ヲ古老ニ聞ク松阪路畔綠樹暗キ所浮浪ハ賊横行スルアリ隱見出沒白晝行人稀ナリ一夕觀世音ヲ負フ行脚アリ此地ニ泊セシカバ賊睡眠ノ狀ヲ窺ヒ一刀ノ下ニ斫ラントス驚ク色メテ觀世音ヲ見レバ何ソ圖ラン佛体路傍ニ横ハリ左手所ヲ異ニシテ散セリ其手流レテ河岸ニ漂ヒ其觸ル、所ノ鼓悉ク片葉トナレリト云フ仍チ此名アリト其觀世音今尚ホ現存セリ

附近清養院光臺寺德玄寺吉祥寺等ノ名跡アリ

池水山德玄寺ノ庭中ニ錢掛ノ松アリ何時ノ頃ニヤ一老翁アリテ如來ノ佛体ヲ三貫文ニ賣リケリ住僧之ヲ得テ熟視スルニ霎時以爲ラク稀世ノ傑作ナリト賞歎措ク能ハス翌曉ニ至リ庭中掃除ノ時松樹ヲ見レバ不思議ナルカナ老翁ニ與ヘタル錢ナリ遂ニ其松ヲ名ツケテ錢掛ノ松ト稱ヘシトソ

泉寶山光臺寺ハ慶長年間ニ大阿和尚ト云フ僧アリ性頗ル諧謔好ンテ鯨飲テナス霧ヲ吐クコヲ能クス南部重直公常ニ宴席ニ侍セシメ寵愛殊ニ厚シ仍テ百五十石ノ領ヲ與ヘ源秀院殿ノ菩提トナシ碑石ヲ建ツ

團子坂

團子坂ハ永福寺境内東ノ方ニ在リ團子石ヲ產ス土中ヲ發掘スル時ハ茶褐色ノ石塊卵球ノ如キアリ精球ノ如キアリ之ヲ兩斷スル時ハ中間ニ黒褐色ヲ呈スル班點アリ恰モ餡入ノ團子ノ如シ故ニ此ノ名アリ寶珠盛岡山永福寺ハ山岸町ノ東端ニアリ堂宇廣大ニシテ一山數坊ヨリ成リ寺領八百石ヲ有シ盛岡市中ノ寺院ニシテ盛大ナルコト之ニ及ブモノナカリシガ維新ノ際伽藍ヲ毀チ今其堂宇アルナシ寺内ニハ片手石團子石アリ

附近七瀧、大豆門灌現、米内藥師、阿彌陀堂等アリ米内藥師ハ不來方氏代々ノ尊崇スル所ナリ四月七八兩日ヲ以テ祭ル峰ノ藥師ト對シテ例年少壯輩ノ遠足ヲ兼ヂテ參拜スルモノ頗ル多シ櫻樹數株アリ其古木ナルコト四五百年ニ渉ルモノアリトイフ

阿彌陀堂ハ往時藤原秀衡ノ建立ナリト云フ寺内ニ赤穗ノ浪人寺岡吉右衛門ノ墓碑アリ

盛岡市穀町九十貳番戸

和洋御菓子調進所

盛岡元祖ビスケット製造舗　柏林堂

千菓子　燕菓子　折詰重詰

御膳部盛品々御注文次第

加

松田福治

盛岡名産

松實糖
黃精飴
片栗落鴈
豆銀糖
蕎麥落厂

本舗特製品

衛生滋養

西洋風

ビスケット
デセール
カステラケーキ
チヨクレツ飴
イチゴ飴
氷玉飴
果物ヲヤム

菓子　打物類

菓子　掛物類

名産藤島飴　廣告

盛岡市穀町貳丁目

菓子製造所

藤島長兵衛

盛岡市穀町壹丁目八拾九番戸

眼科専門醫士

眼科專門 致誠堂 長谷川三郎

本縣下檢疫ノ爲メ十月十五日ヨリ東和賀郡エ出張致居候處過日來病勢衰滅ニ付歸宅從前ノ通自宅治療ニ從事候

盛岡市穀町三丁目

日用 熊谷源太郎

各國藥局法藥品類
工藝用藥品類
醫科器械類

理化學用顯微鏡用藥品類
最新輸入藥品類
繪具染料品類

一小間物類
一筆墨紙類
一鉄打物類

盛岡市新穀町
木津屋
池野藤兵衛

開運橋附夕顔瀬橋

明治二十三年東北鐵道全通シ盛岡停車場ヲ厨川村木伏ニ設クルヤ新築地ヨリ北上川ニ橋ヲ架シ名ケテ開運橋ト稱ス爾來往來行通ノ便日ニ益繁ク百貨ノ輻湊月ニ彌多シ眞ニ開運ノ名ニ背カサルナリ橋上ヨリ北方ヲ望メバ岩手山魏然雲際ニ峙チ夕顔瀬橋虹ノ如ク横ハレリ往時夕顔瀬橋ハ滔々タル大河ニシテ橋梁ヲ架スルモ忽チ洪水ノ爲メニ流失スルヲ以テ舟渡セシ所ナリシガ明和年間中央ニ堅固ナル中島ヲ築キテ橋ヲ架セシヨリ如何ナル洪水ニモ落ツルコトナク以テ今日ニ至レリ相傳フ昔康平年中鎮守府將軍源賴義其子義家ト共ニ安部貞任ヲ征伐セシ時大軍此所ニ至ルト貞任ガ軍勢頗ル微ニシテ殆ント戰略ニ窮セリ是ニ於テ貞任忽チ一策ヲ按シ軍卒ヲ多勢ニ見セントタ顔ニ目鼻ヲ着シ藁ヲ以テ偶人ヲ作リ之ニ甲冑ヲ纒ヒテ川岸ニ歩卒ト交互ニ立置キ以テ虚勢ヲ示セリ橋名ノ因テ起ル所之ニ在リト云フ

附近新山堂熊谷稻荷山椒祖母社永祥院等アリ

水養山永祥院ハ井水ノ北上川ニ通スルト云フヲ以テ其名高シ寺内ニハ長者ノ村上ト稱スル龍門先生ノ墓アリ碑名ハ有名ナル北山先生ノ筆ナリ

住吉社

市ノ東十丁許リ三王山ノ北天滿宮ノ南ニアリ三方ハ皆古杉鬱蒼タリ西方ニ當リテ大ナル二本ノ槻樹高ク雲ヲ凌ケリ石燈籠十余基アリテ本社拜殿等結構甚古風ニシテ且ツ彫刻尤モ美ヲ盡セリ此社カ寛政七年ノ頃此所ニ遷座シ新ニ社ヲ造營セシトゾ本社祭日ハ五昔ハ厨川村境田川原ニ在リシカ寛典モ亦漸ク盛ンニ至レリ祭神ハ上筒男命中筒男命底筒男命ノ三神ナリ盛藩記事ニ曰ク嘗テ或船商難風ニ逢ヒテ踪跡不明トナレリ是ニ於テ百方搜索スレトモ更ニ知レズ其際當住吉ノ別當不思議ニモ船ノ行衛ヲ考ヘ出セシヨリ船商等大ニ之ヲ信シ此地ヲトシ新ニ社ヲ造營セシトゾ本社祭日ハ五月十三日ナリ又社前ヨリ古ノ道路ニシテ乙部地方ヨリ築川葛西橋上小路八幡片原藤ケ森ヲ過キ其レヨリ此所ヲ經テ妙泉寺山下ニ至リ中津川ヲ渡リ岩手關松坂法華寺法泉寺下ヲ過キテ通行スル街道ナリシトゾ社前ヲ流ルヽ小河ハ即チ櫻川ノ名殘ヲ留メル古ノ名所ナリ三王山天神山ニ詣ルモノハ此ノ所ヲ通行スルヲ以テ順路トナス

吳服古着物商

盛岡市新穀町

糸屋 中村治兵衛

正札掛

吳服古着物商

盛岡市新穀町

東屋 小原平助

林檎輸出商
菓子製造商
砂糖漬類
製造元祖

林檎羊羹
林檎砂糖漬
豆腐糖

同

盛岡市新穀町總門

櫻屋

櫻田重助

本縣共進會及博覽會ニ於テ褒狀賞牌ヲ受ク

明治橋

北上川ハ盛岡ノ南ヲ流レ源ヲ北岩手郡御堂村ニ發シ石卷港ニ至テ海ニ入ル河流凡ソ七拾四里蕃將軍源賴義安倍貞任ヲ攻ムルヤ將士皆渴シ乃チ遙カニ皇城ヲ拜シ心中深ク祈願ヲ凝ラシ弓弭ヲ以テ岩穴ヲ穿チシニ靈泉忽然トシテ湧出シ其末流終ニ北上川トナリ依テ玆ニ一字ヲ建テ御堂觀音ト云フ市ニ於テ之ニ橋ヲ架スルモノ三條夕顏瀨橋開運橋明治橋トス明治橋ハ川原町ヨリ仙北町ニ通スルモノナリ長サ四百九十八尺余古ハ河水暴溢屢流失ノ患アルヲ以テ船橋ヲ架シタリ神通矢矧ノ兩川ト並ビテ日本三船橋ノ一ナリ四望景色佳絕ニシテ盛岡八景ノ中北上川ノ歸帆トス別ニ舟橋八景アリ後圖ニ詳說スヘシ岩手縣令島惟精君治縣中明治六年中央ニ島ヲ築キ高ク橋ヲ架シ明治橋ト名ツク名字ハ長三洲先生ノ揮毫ニ係リタル大理石ノ碑アリ

葛西橋

葛西橋ハ簗川ニ架シ北上川ニ合スルナリ簗川ハ源ヲ兜明神山ヨリ發シテ北上川ニ入ル川流僅四五里奔湍激流奇岩ヲ衝キテ岩角沫ヲ飛バシ或ハ水勢緩ク潺湲トシテ旋ルアリ夏時橋ノ上下ニ香魚夥シク群集スルヲ見ル是レ垂釣者ノ爭フテ豪遊スル所以ナリ昔天正年間此邊ハ總テ鎌倉街道ニ屬シ河南ニ葛西氏河北ニ中野氏アリテ以テ斯波氏ニ備フト葛西橋ノ名仍テ起ル所ナリ

附近鎧山門權現見石金刀毘羅經ク森高寺觀音手代森山黒川等ノ名跡アリ

經ク森ハ南部信直公斯波陸奥守ヲ征伐スル時此森ニ陣シ以テ其虛實ヲ窺ヒタル所ナリト云フ

鎧山ハ北上川ヲ往來スル舟子之ヲ標準トセシモノニシテ山上大ナル槻樹アリ山下ニハ門權現ヲ安置セリ舟橋八景ノ中ニ在リ鎧山秋月是ナリ

陸奥乃あたら眞弓つるすけて引ゑる人の我をあとなさん

一米穀

一搪

一荒物

盛岡市穀町
東屋

商 阿部喜兵衛

一青物

一果物問屋 ㊎

一乾物

盛岡市新穀町
川島屋

桑原孝次郎

一清酒
一醬油
一味噌

商 ㊈ 平野八兵衛

盛岡市新穀町
平野屋

酢醬油
味噌醬麹
塩荒物類
砂糖

商 ㊈ 平野命助

盛岡市新穀町
平野屋

一諸國旅人宿
一貴顯散齒磨

盛岡市穀町
井筒屋

饗庭勝次郎

盛岡市穀町九拾八番戸
印判師 鈴江圓次郎

○金銀 ○水晶 ○玉石 ○牙角 ○竹木

行在所

明治九年車駕奥羽巡幸ノ時菊池金吾氏ノ邸ヲ以テ行在所トセラレタリ抑モ菊池氏ノ邸ハ盛岡第一ノ盛街ナル肴町ノ裏通リニシテ餌差小路ニアリ肴町ヨリ御幸新道（車駕駐輦ノ時此ニ新道ヲ開クヨリ因テ紀念トシテ碑ヲ立テ御幸新道ト云フ）ヲ通スレハ即チ菊池氏ノ邸ニ至ルベシ後十四年北海道巡幸ノ際再ビ此ニ蹕ヲ駐メサセ給フ正面ノ大門ハ御通行ノ御門ニシテ常ニハ玄關ト共ニ之ヲ閉鎖セリ邸宅廣大ニシテ玉座ノ如キハ殊ニ高雅且ツ結構壯麗ヲ尽セリ平時ハ密閉シテ人ヲ入レス之ニ對シテ美麗ナル庭園アリ假山池畔ノ間ニ珍卉奇石ヲ集メテ之ヲ點綴シ巧緻美妙其趣ヲ異ニシ一々人目ヲ驚カサヽルハナシ松樹アリ高サ數丈蜿蜒蟠曲形龍蛇ノ如シ枝葉雲ヲ凌キ翠色滴ラソトス實ニ有名ノ古松ナリ曩ニ御幸行ノ時陛下之ヲ覽ソナハセラレ賞嘆措カセラレズ勅命ノ和歌ヲ下シテ見則ノ松ノ名ヲ賜ハリタリ此時供奉ノ諸卿和歌ヲ詠スル又甚ダ多シ

龍都盛岡よ駐らせ玉ひけるほと行在の家あるしのたてまつれる紅梅餅を御手つから賜りて歌めしけれはつゝのうたてまつれる

もちひけんこゝろ深さはくれなゐの梅のいろよを匂ひけるかな　正風

こゝしある菊池かそとにやとせたまひて庭なりける松に見馴の松といふ名賜ひて歌よめと仰をありけれはつゝかふまつりける

あらたなぬいろにも千世をさゝけ君か見ゐれし宿のまつか枝　公業

岩手物産陳列場

輓近當岩手縣下ニ於テ生産力ノ發達ハ日ヲ追フテ隆盛ニ趣クリ殊ニ當市ノ如キハ交通頻繁百貨輻湊ノ焼點ニシテ悉ク備具セサルハナシ市内ニ三個ノ勸工場アリ一ハ内丸一ハ肴町一ハ十三日町ニアリテ共ニ盛ンナリ市内商業ノ尤モ殷盛ナル地ハ肴町ニシテ盛岡ノ銀座通ナリ之ニ亞クモノハ呉服町紺屋町等ナリ内丸ニ勸業場アリ内ニ製糸、冶工、陶工、製紙、機業等ノ諸工場アリテ各技術ヲ闘ハシ尤モ精巧ノ佳品ヲ製出セリ其傍ニ南館北館ノ二棟アリ嘗テ此所ニ岩手勸業博覽會ヲ開設シ大ニ殖産興業ノ發達ヲ勸誘シタリ爾來展覽會アリ品評會等アリテ直接間接ニ美術工藝其他農産等ノ著シク進歩シタルヲ見ルニ至レリ近年岩手物産陳列場ナルモノヲ開キ當地ノ特産物ヲ陳列シテ農庶ノ縱覽ニ供セリ構内ニ雅致艶麗ナル庭園アリ其前面當リテ秀清閣アリ杜陵館ト相對シテ盛岡人士ノ集會所ナリ殊ニ秀清閣ハ前令尹島君ノ邸宅ニシテ結構壯麗ヲ極メ樹木鬱蒼トシテ秀麗清雅ナリ灑洒タル風景掬スベシ是ヲ以テ貴顯紳士ノ宴遊ニハ最モ好適セル所ナリ

金銀銅
竹角牙
木の類
撓物師　松田清次郎
盛岡市穀町

御筆師　宮安太郎
文泉堂
盛岡市穀町
市内及ヒ市外ノ各学舎其店ハ弊堂製造ノ筆実捌致居候間最寄ニテ御購求ヲ乞フ

和洋
小麦粉
卸小賣
兼乾物類
商　米
盛岡市穀町二十目
たかや
藤島源太郎

表具師
盛岡市穀町三十目
櫻田與助

盛岡市十三日町

國產烟草製造所
內外烟草仲買商
國產塗器商

加

かのや

水原庄兵衛

絹布紋付摸様付類　小紋中形染類
更紗　形友仙染類　印袢天手拭類
諸興行物幕水引類　のれん類

盛岡市十三日町八十七番戸

分

吉田勘太郎

此外御好次第調進仕候間何卒陸續
御用向被仰付被下度奉願上候也

御染物所

染勘

染勘之印

和洋絲類
綿毛絲類

商 目 齋藤仁助

盛岡市十三日町

右通精々廉價ニ販賣仕候間御購求被成下度偏ニ奉願上候

塗物類
鉄刀物類
陶器類

商 ㊇ 吉田彌兵衛

盛岡市十三日町

鍋釜唐金物
鐵瓶製造人

盛岡市十三日町十五番戸
鍋屋
浦田兼蔵

塗物指物類商

盛岡市十三日町
上野屋
企 熊谷岩之助

古着商

盛岡市十三日町
長澤屋
田 長澤寅吉

指物小細工樺細工萇入

盛岡市十三日町五十五番戸

製造人 季村理平治

改良唐箕万石建具指物

盛岡市十三日町三十四番戸

製造人 平村田徳次郎

洋服裁縫店帽子製造所

盛岡市十三日町

㊎ 山田徳治

製絲器械機子製造人

盛岡市十三日町

専 村田専八

清酒 燒酎 販賣商 佐々木文藏
盛岡市十三日町西角

直 小間物 各種 荒 實 吉田太郎
盛岡市十三日町肴町突當り

栗山大膳名ハ利章西木紹山居士ト號ス人トナリ慷慨剛直黒田家ニ仕ヘテ家老ノ職ニ在リ抑モ築前國福岡ノ城主長政ノ卒スルヤ長子忠之ヲ以テ嗣トナサントス利章之ヲ聞キ憶フニ忠之ノ公性行踈暴ニシテ到底國守ノ資ナシト之カ廢嗣ヲ謀リシモ成ラズ忠之公立ツニ及ンテ近臣ノ讒ヲ信ジ利章ヲ乾ケルリト云フ左レハ佞人輩出シテ忠之公ニ親昵シ舊敵其隙ヲ窺ヒ密ニ黒田家ヲ亡サントスルモノアリ利章憤懣遂ニ之ヲ幕府ニ訴ヘ自ラ兩家ノ負ヲ幕府利章ヲ南部藩侯ニ預ケタリ藩侯之ヲ鹿角郡ニ居ラシメシカ後盛岡ニ移リテ閉居スル常ニ時事ヲ感慨シ其心未タ曾テ一日モ主君ノ恩ヲ忘レサリシカ終ニ盛岡ニ於テ歿ス是レ乎利章ノ從臣无方長老碑ヲ愛宕山ニ建テ、其德ヲ表セリト云フ

愛宕山ハ市ノ東北ニアリ東照權現ヲ祭レル處ニシテ盛岡ノ鬼門ノ鎭守トセリ徃時北山ハ躑躅楓樹ノ名勝地ニシテ春秋ノ候遊覽スル者群衆ヲナセシト雖維新後ハ堂宇悉ク破損シテ風景亦昔日ノ如クナラス

山下ニハ高水寺法輪院法明院等ノ寺院アリ

愛宕山下ヲ關日ト云ス慶長年間ハ鎌倉街道ニシテ即チ岩ノ關ノ古跡ナリト云フ

駒ヶ岩手の關を打越えて松のね枕夜をし明さん

能因法師

東路やいはでの關のかひもなく春をは告くる鶯の聲

定家

おもふてをもおもふてやねんはてのなんろの奥を誰かしるへき

用務卿

栗山大膳碑

岩手ノ山高ク北上ノ水長シ此地豈傑物ナカランヤ楢山佐渡諱隆吉隆冀ノ子ナリ幼時武術ヲ學フニ其師彼カ國老ノ子タルヲ憚リ故ラニ之ニ負クレハ佐渡叱シテ之レカ出入ヲ止メ強ク己ヲ打チ毫モ忌嫌マサルモノアレハ則チ大ニ喜ヒ瓦師トシテ之ヲ賞ス其言行概ネ此ノ如シ年二十三ニシテ國老ノ職ニ登リ父ト共ニ藩政ニ參與シ威權旭日ノ如シ父退キテ佐渡獨リ國老トナルモ政治着々歩ヲ進メ然ルニ端ナクモ戊辰ノ亂ニ會シ與羽諸藩皆連合シテ隣長軍ニ抗シ既ニシテ敵ニ敵ニ家ニ怨ナシ以テ佐渡ヲ討ツ連戰皆勝チ殆ント城下ニ迫ル敵大ニ憤リ直ニ鹿角口ヨリ進ンテ之ヲ擊ツ會津皆破ル、ト聞キ遂ニ事ノ成ラサルヲ知リ已ニ歸シ明治廿二年六月廿三日報恩寺ニ於テ從容トシテ死ニ就ク時ニ年卅九聞クモノ皆感歎セサルハナシ明治廿二年大赦ニ逢ヒ櫬ヲ本山ニ歸シ墓ヲ立テ毎年例祭ヲ設ケテ之ヲ追弔セリ詩歌アリ

倚几十旬坐兀然人言一室靜如禪還家夢斷心愈苦存國計踈身自憐滿眶風雲傷世變半生花鳥耻情

牽君恩海岳無由報空送星霜四十年偶

成佐渡

花ハ咲柳はるゆる春の色にかはらぬも時を得てわれ知り顏に咲花々風にもろきを浮世なりけり

隆吉

御商人向

旅人宿

御商人御滞在ノ貴客御便利ノ爲メ総テ廉價ヲ旨トシ御取扱可仕候敬白

盛岡市十三日町西側
舊紙問屋事中島屋

熊谷治右衛門

盛岡市十三日町壹丁目角
小田屋

川道善五郎

醬油
味噌
醸造店

盛岡市六日町
木津屋

池野權治

仙臺師團御定宿
陸海軍々用旅舍
諸官省御定宿

改眞
旅舘 高與 中村與助

巖手縣盛岡市六日町

弊店今般宅屋敷繁榮落成候ニ付一層改眞ヲ加ヘ日ニ清潔ヲ旨トシ萬事正實ノ御取扱可仕候且又當南門ニテハ停車場ヘモ最近ノ場所ニシテ諸事御便利ニ御坐候尤弊店ニ於テハ宿引一切差出不申候仍テ宿引及車夫ノ口實ニ御惑ヒナク御光臨ノ程偏ニ奉希候頓首

六十

食料品商舖
鑵詰類諸乾物鰹節

盛岡市六日町

十一屋 高橋伊兵衛

奥羽名産販賣品目

岩手縣名產ノ部 第四回內國勸業博覽會ニ於テ褒狀ヲ賜ハリタル○氷蒹麥○マルメロ○鑵詰○リンゴ鑵詰○正眞かたくり○㊂晒あん○鮫スガ○安庭漬

山形名產ノ部 菅野製造甘露梅のし梅

弘前名產ノ部 勸業博覽會有功三等賞池田製ノ馬鈴薯澱粉

鑵詰ハ廣嶋青陽堂ヨリ特約販賣ヲ約シ其他各地有名ノ物品ヲ精撰ス眞品注意仕候間卸小賣トモ陸續御用向被仰付度奉希上候也

六十一

海產物委托販賣商

盛岡市六日町
魚問屋
宮川新八

石割櫻

石割櫻ハ本市内丸盛岡地方裁判所構内ニ在リ一名櫻雲石ト稱ス高サ八尺餘長サ二丈餘幅九尺許リノ巨巖アリ中央ヨリ二個ニ割レ櫻樹一株超然トシテ其間ニ生ス石割櫻ノ名因テ起ル所ナリ石上ニ出テタル所ハ根ノ周圍五尺ニ近シ枝葉蔚然トシテ繁茂セリ石間ニハ樹根蟠屈充滿シ其生長ニ隨ヒテ斯ル巨石モ爲メニ分割セシト云フ春時開花ノ候ニ至レハ爛熳タル櫻花恰モ白雲ノ一時ニ凝クガ如シ天然ノ奇勝妙絶ナル眞ニ櫻雲ノ名ニ負カズト云フベシ蓋シ盛岡名勝ノ冠タルモノナリ故ニ此地ヲ過ルモノ之ヲ見嘆賞セサルハナシ陸前國玉造郡ニ石割梅ノ奇勝アリ共ニ東奥ノ一奇觀ト云フヘシ

櫻山神社附近

市ノ北方凡十九丁許櫻山ニアリ祭神ハ祖先南部三郎光行公大膳太夫信直公合祀ノ社也綠樹鬱蒼人ヲシテ自ラ畏敬ノ念ヲ起サシム抑光行公甞テ源頼朝ニ從ヒ藤原泰衡ヲ征伐シテ大ニ功アリ依テ糠部五郡ヲ賜ハル次ニ信直公ハ祖先ノ餘業ヲ繼キ大ニ國運ヲ進メ中興ノ祖タルニヨリ三十二代利祝公始メテ社ヲ城内淡路丸ニ創建シ淡路丸神社ト稱セリ後同所ノ字ヲ櫻山ト稱セルヲ以テ櫻山神社ト改稱ス維新ノ際加賀野妙泉寺山ニ遷座シ明治八年五月今ノ所ニ遷座セリ同十四年縣社ニ列セリ例祭ハ五月廿五六ノ二日ナリ參拜者頗ル多シ社内ニハ小亭アリ茶菓ヲ賣ル楓櫻枝ヲ交ヘ頗ル春秋ノ景ニ富メリ當山ニ大光山聖壽寺アリ京都妙心寺末山臨濟宗ニシテ開山ハ國濟三光國師ナリ慶長十八年利直公ノ時石門和尚請ヒテ菩提所トシ五百石ノ寺領ヲ有セリ」東隣ノ大寶山東禪寺モ亦南部家ノ菩提所ナリ建武年間無盡妙什和尚開山セリ昔ハ二百四十二石ノ寺領ヲ有ス實物ニハ空海寫經無盡和尚ノ繪衣アリ楢山佐渡照井小作伊藤辨治戊辰戰死ノ諸碑等アリ

海産物
委托問屋

齊藤秀五郎

盛岡市六日町八十一番戸

諸國
旅人宿
生糸眞綿商
産物仲買商人
東西閉伊郡

照井亦八

旅館 照井亦八

盛岡市六日町五十七番戸

御定宿

量器製作修覆販賣所

萬小間物商

盛岡市六日町二十番戸

古 古川平七

六十七

量器製作修覆販賣所

萬小間物商

盛岡市六日町二十番戸

古 古川平七

六十七

廣告

弊店製作量器ノ特色ハ第一品質善良第二廉價

右二大特色徳用ノ外米穀ヲ量リ慊ノ固着スルヿ少ナク繭ヲ計ルニ品質ヲ損スル患ナシ是皆南部名産檜ヲ以テ製造致故ナリ南部檜ハ他國産ト違ヒ樹脂ノ發生セサル特色アリ以上ノ如ク御徳用ノ升ニ候間多少ニ不限御注文ノ程奉願上候

賣掛御望ノ方ヘハ相應ノ割引可仕定價表ハ御申越次第呈ス

廣告

弊店製作量器ノ特色ハ第一品質善良第二廉價

右二大特色徳用ノ外米穀ヲ量リ慊ノ固着スルヿ少ナク繭ヲ計ルニ品質ヲ損スル患ナシ是皆南部名産檜ヲ以テ製造致故ナリ南部檜ハ他國産ト違ヒ樹脂ノ發生セサル特色アリ以上ノ如ク御徳用ノ升ニ候間多少ニ不限御注文ノ程奉願上候

賣掛御望ノ方ヘハ相應ノ割引可仕定價表ハ御申越次第呈ス

量器製作修覆販賣所

萬小間物商

盛岡市六日町二十番戸

古 古川平七

六十七

齒科治療廣告

一本院ハ義齒並ニ金。銀。ゴム。プラチナ。セメント充塡其他口腔諸病ノ治療ニ應ズ

盛岡市六日町二十二番戸

量器製作修覆販賣所

六十六

齒科治療廣告

一本院ハ義齒並ニ金。銀。ゴム。プラチナ。セメント充塡其他口腔諸病ノ治療ニ應ズ

盛岡市六日町二十二番戸

量器製作修覆販賣所

六十六

魚類
海草
商

小原善八

盛岡市六日町四十番戸

六十八

E運E

盛岡停車場前
盛岡市六日町
内國通運株式會社支店
内國通運株式會社支店
荷扱所

諸國旅人宿

似内ツマ

盛岡市六日町

椅子製造人

春

村田春治

盛岡市六日町三十一番戸

六十九

銅業

盛岡市仙北町

西村屋

吉田徳兵衛

手掛松

手掛ノ松ハ北上川ノ北安倍館ノ對岸ニアリ斷崖絶壁高サ五丈餘其岩上ニ松樹ヲ生セリ口碑ノ傳フル所ニ據レハ昔シ將軍源義家厨川城ニ安倍氏ヲ攻ムルヤ八幡森ニ對陣シテ其動靜ヲ窺ヒタリシカ城廓堅固ニシテ近クベカラズ義家乃チ河岸岩角ノ孤松ニ攀チ隻手ヲ掛ケ以テ河底ノ深淺ヲ計リタリト此ヲ以テ手掛ノ松ノ名アリ風景絶佳愛スベシ其下ハ即チ蒼々タル深潭ニシテ水流常ニ渦ヲナセリ水色鑑ノ如ク其深サ幾尋ナルヲ知ラス此ノ邊岩礁点々水勢頗ル激湍ニシテ舟筏ヲ行ルモノヽ尤モ危險トスル所ナリ八幡森ハ奥街道ニ沿ヒ庚申堂ニ向ヒタル處ナリ今ヤ樹木ナク黄雲穰々タル千頃ノ畝トナリヌ四望眼中ニ入リ丘阜ニシテ安倍舘ヲ瞰ミ見ルベシ此地ハ盛岡八景ノ一ニシテ現今池野末次郎氏ノ所有ニ係レリト云フ

五百羅漢堂

羅漢堂ハ鳩巣山報恩寺内ニアリ曇樹和尚ノ建立ニシテ七間四面ノ堂宇ニ安置セラル五百ノ佛体ハ悉ク金銀銅ヲ鑄メ其彫刻極メテ巧妙ナリ燦々爛々トシテ光明人目ヲ眩セリ佛位ノアル所畫尚暗ク香爐香ハシキ處滿堂寂然タリ堂前ニ菩提樹アリ高サ五十尺周圍三十尺計リ其老木ナルヿ信州善光寺ノ菩提樹ニ亞ギテ日本三樹ノ一ナリト云フ報恩寺ハ應永廿六年三戸城主南部守行公ノ開基ニ係リ長徹和尚ノ開山ナリシカ慶長七年松坂ニ遷リテ建立ス二百八ケ寺ノ總祿職トナリ二百石ヲ領セシト云フ有名ナル楓樹南部政直公ノ靈屋弘法大師自作ノ盧舍那佛倶利迦羅不動聖德太子御作ノ釋迦牟尼佛文珠菩薩普賢菩薩駒野丹下ノ作即チ五百大羅漢十六羅漢石川丈山揮毫ノ碑文楢山佐渡剣首ノ室其他光明堂千人塚等ノ實物名跡アリ附近正傳寺着替嶋岩手ノ關等アリ松坂ハ慶長年間迄ノ鎌倉街道ニシテ岩手ノ關ノ門戸ナリト云フ

荒物問屋

盛岡市仙北町

西村屋

吉田豐八

七十二

荒物問屋

盛岡市仙北町

津の國屋

平野文助

七拾三

馬匹營業人

三

福岡市馬町四十二番戸

中村佐太郎

清酒 燒酎

盛岡市仙北町

石橋屋

小笠原市太郎

馬匹營業人

五

盛岡市馬町百四十三番戸

藤谷和七

材木商

盛岡市仙北町組町

見前屋

太田周助

右者材木廣ク賣捌候ニ付四方ノ諸君何卒陸續
御買求被下度偏ニ奉願上候以上

馬匹營業
外山御料御用達
足尾銅山用達
盛岡市馬町
丸吉屋
八幡權吉

南
盛岡市仙北町旭町
荒川宋吉

りんご
梨子
栽培元

盛岡市仙北町
金澤長次郎

呉服太物
古着類商
裁縫品

盛岡市仙北町
櫻井屋
櫻井嘉助

改良
東雲稻の花　玉の井
白酒燒酎　味淋

盛岡市呉服町
井筒屋
川越千次郎

灘西の宮正宗
外種々

小牧倉鑛山製出小間俎
大坂上田製種麹もや
職工生命保險株式會社代理店

改正衡器通價表

千木秤
五十貫掛金六圓五拾錢
四十貫掛金五圓
三十貫掛金三圓八十錢
廿六貫掛金三圓三十錢
廿貫掛金二圓七十錢
十八貫掛金二圓五十錢
十六貫掛金二圓卅五錢
拾貳貫掛金壹圓九拾錢
六貫掛金壹圓四十錢
四貫掛金壹圓十錢
二貫掛金七十錢
一貫掛金十五錢

銀秤（輸入）
角銀二百匁掛金一圓十錢
黒銀二百匁掛金一圓五錢
厘秤五匁掛金一圓

黄銅皿秤
鎖付二貫掛金一圓五十五錢
仝一貫二百匁掛金一圓三十五錢
仝五百匁掛金壹圓
糸付皿秤二貫掛金一圓四十錢
仝一貫二百匁掛金壹圓貳拾五錢
仝五百匁掛金八十五錢

生糸掛鍵秤（鞘付）
黒檀二貫匁金壹圓五十五錢
仝壹貫六百匁金壹圓四十錢
仝壹貫三百匁金壹圓三十錢
赤樫二貫匁金壹圓三十錢
仝壹貫六百匁金壹圓廿五錢
仝壹貫三百匁金壹圓拾五錢

外各種御注文ニ應ス
調製可仕候

岩手縣盛岡市呉服町拾四番戸
衡器製作所
記號 モリサ
佐藤保治

天満宮附近

市ノ東十二丁計リ新庄村ニアリ例祭ハ舊五月十四五兩日ナリ本殿拜殿アリ當社ハ寛永年間四ッ家町ニアリシカ後ニ紙町ニ遷座次ニ當今八幡宮ノ處ニ遷座シ延寶七年新庄山ニ安置シ奉レリ神体ハ有名ナル筑紫ノ太宰府安樂院ノ飛梅ヲ以ヲ作レル神像ナリ能書ヲ所ルノ聖尊崇淺カラス俗之ヲ天神ト云フ此山ハ元ト花坂館ト云ヒシカ南部利直公盛岡城建築ノ際三上某ヲ置キタルヲ以ヲ一ニ三上館モ稱セリ社内ニハ辨慶石筆塚牛若石等アリ

附近新庄不動尊安樂院梅屋敬牛頭天王社鹿島明神小山觀音新庄觀音等ノ名跡アリ

牛頭天王社ハ祭神素盞雄尊祭日ハ舊六月十五日ナリ庶民ノ信仰最モ厚シ本社ハ出雲大社ナレハ一名八雲神社ト云フ

天王社ノ西ニ鹿島山アリ山上ニハ鹿島神社ヲ祭リ祭日舊四月四日祭神武甕槌尊本社常陸鹿島郡ナリ此社ハ南部家ノ先代甲斐國ヨリノ持傳ニシテ城内ニ安置セラレシカ後神詫ニヨリ城中烏帽子石ノ所ニ遷座セラレタリト云フ重信ノ時社領五十石ヲ寄附セラル

松尾神社附近

社ハ八幡宮ノ南方ニ當レル丘陵ニアリ祭日ハ六月十五日祭神大山咋命昔ハ此地ヲ飛鳥川舘ト稱セシカ其後中野氏住シテ中野舘ト云ヘリ社前ハ即往古ノ國道ナリ當時南部信直公西ニ不來方城ノ福士氏東ニ中野氏ヲ置キテ此街道ヲ夾ミ以テ斯波氏ニ備フト云フ嘗テ生姜町神明宮ヲ此ニ鎮座セシコトアリシカ寶永二年ヨリ當社ヲ鎮座セリ社内ニ太子堂トテ聖徳太子ヲ祭レリ是當舘ノ鎮守ニシテ甚タ古社ナリト云ヘリ其北隣ニ當リテ茶畑ト稱スル所アリ古ハ築川此所ヲ流レテ中野舘ノ要害タリシト云フ又社ノ南ハ宗龍寺ナリ明治十七年回祿ノ災ニ罹リ一朝烏有ニ歸シ亦舊時ノ觀ナシ但十六羅漢其他幾多ノ佛像ハ今尚ホ依然トシテ存セリ皆花崗石ニシテ一丈余ノ大像ナリ

附近白山瑠璃大權現寶光山白山寺新觀音堂廣田大明神山蔭八幡中野山法藏院垢離取場地藏安養院等ノ名跡アリ

垢離取場ハ八幡社ニ於テ騎馬ノ士此所ニ水垢離ヲ取リタリト云フ故ニ今尚垢離取場ト稱セリ

諸國産紙類
筆墨類大御
三井石紫硯類小賣
狀袋手帳各種勉令
習字帳簿記帳强所
化粧石鹸類

荷申上候間多少ニ不拘御注文被仰付度候也

從來之通御注文ニ應し精々勉强之上迅速御送

盛岡市呉服町

箱崎盛閧堂

書籍雜誌
新聞販賣業

知識ノ實襄文明ノ利器社會ノ耳目ヲ賣捌ニハ機敏快速確實ヲ要スルト承り小店ハ元ヨリ此要旨ニ背カサルヲ圖り候間倍舊御愛顧御引立ノ程奉願上候以上

サルヲ侍シテ營業罷在候處今回一層改良熱心ニ御便利ヲ圖り候間倍舊御愛顧御引立ノ程奉願上候以上

盛岡市呉服町

便益堂

和漢洋ヲ問ハス新古ヲ論セス書籍類ハ總ヲ取次販賣仕候

靴製造所

岩手縣監獄署

靴工業請負人

盛岡市呉服町貳拾壹番戸

今對馬常政

靴類ハ何種ニテモ御注文次第迅速調進可仕
候間陸續御注文アラン事ヲ偏ニ奉願上候

紙筆墨文具商

廉直喪終始
品類盡精良

盛岡市呉服町二番地

赤澤鋪

赤澤又吉

諸國旅人宿
酒販賣所
盛岡市吳服町
德正
佐藤正八

かすてーら
松の實糖
豆銀糖
松皮煎餅
翁あめ
くるみ糖
このわくり落鴈

菓子製造人
盛岡市吳服町五番戸
養老軒
大森德次郎

右の外和洋御菓子品々賣上候

敎淨寺

雍護山敎淨寺ハ盛岡五ケ寺ノ一ニシテ昔ハ寺領二百石ヲ有セリ相州藤澤清淨光寺末遊行派ナリ南部十代右馬頭茂時公鎌倉爭亂ノ時御生害アラセラレタルヲ以ヲ清淨光寺ニ葬リ敎淨寺殿正阿彌陀佛ト稱シ三十三代利視公ノ時茂時公ノ菩提所トシテ當地ニ建立セラル乃チ法名ヲ取リ寺名トナス本尊ハ多田滿仲ノ守リ神ナリト云フ緣日ハ毎月十四日ナリ殊ニ十二月十四日ハ市内及ヒ近鄕近在ヨリ參詣スルモノ甚多ク老弱男女ノ來賽スルコト盛岡第一ト稱ス隣山ヲ源勝寺ト云フ圓峯山源勝寺ハ志和郡ニアリテ稻荷山ト稱シ斯波氏世々ノ墓タリシカ斯波氏沒落後光臺寺ノ西隣ニアリテ法華寺ト並ヒ居レリ然ルニ光臺寺ハ源秀院殿菩提所トナリシヲ以テ寺領ヲ賜ヒ寬文三年敎淨寺ノ東隣ニ移セシト云フ寺內ノ稻荷堂ハ志和稻荷山ヨリ遷座シ神体ハ甚タ古物ナリシトゾ全國寶物取調委員仔細ニ之ヲ觀テ感賞セシト云フ當寺ハ遠州雲林寺末曹洞宗ニシテ維新前ハ二十石ノ寺領ヲ有セリ

本誓寺

石森山重覺院本誓寺ハ米內村字二ツ割ニ在リ眞宗大谷流ニシテ本尊ハ阿彌陀如來ナリ開山ハ親鸞上人ニシテ開基ハ是信坊ナリ（廿四輩十弟子）建保年間吉田大納言信明卿故アリテ越前ニ謫セラレシカ勅免ヲ得ルモ遁世シテ出デス遂ニ親鸞上人ノ弟子トナリ名ヲ是信坊ト改メ東奥巡錫シテ紫波郡彦部村字石ケ森ニ至リ一宇ヲ建立シテ本誓寺ト稱セリ其臣千原長左衞門信圓橋本作內ト共ニ之ニ從フ光照寺ハ即信圓ノ遺蹟ニシテ作內ノ子孫ハ今尙橋本ト稱セリ是信坊六世ノ孫賢勝盛岡ニ移リ石森山本誓寺ト云フ當時寶物中殊ニ珍シキハ宗祖直作ノ木像唯信鈔、光明本、安倍貞任ノ佩刀及家康秀吉兩公ノ扇ノ歌等ナリ本堂ノ額ニ石森山ト書セシハ淸朝ノ人程赤城ノ筆ナリト云フ

よし茂れ庭の夏草思ふ程道あれんてゝ問ふ人をあし
物思ふたゝ獨りねのさむしろにあた塵よ幾夜つもりぬ

家康
秀吉

生蕎麥
掛ケそば
盛リそば

但シ市内ノ分ハ遠方ト雖モ御注文次第念入特參仕候間多少ニ不拘御贔屓被下度奉願上候最モ生そばノ分ハ箱入ニシテ差上候也

盛岡市吳服町中ノ橋通

北田三藏

御菓子

蕎麥饅頭
黃精飴
麥落鴈
豆銀糖

外御法事御菓子種々調進仕候間何卒陸續御用被仰付度奉願上候也

盛岡市六日町

結城屋

金田新兵衛

廣告

鷄鶉小鳥
鷄卵川魚

盛岡市鉈屋町壹丁目

川鉄

吉田鐵之助

左之外諸鳥川魚類實撰仕候間何卒四方の諸君陸續御贔屓被成下度偏に奉願上候也

魚類
海草
販賣所

盛岡市鉈屋町
松本屋

伊東松次郎

清酒
醸造

盛岡市鉈屋町
芳田屋

舍細川重次郎

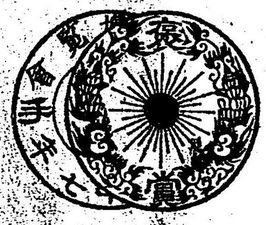
青物乾物
果物問屋

盛岡市鉈屋町
八百倉
吉田倉治

第四回内國勸業博覽會褒狀

啓承勸業博覽會褒賞

第一回啓承酒類品評會第一等賞



清酒・醸造元

盛岡市鉈屋町
村井源三

養蚕物
米穀類
材木及杭類
薪炭類
塩荒物類

盛岡市鉈屋町
合資誠立會社
本店
内藤祐吉

東西閉伊郡
膽澤江刺郡
諸國旅人宿
盛岡市鉈屋町
明治舘通
柳田清兵衛

東西磐井郡商人宿
盛岡市鉈屋町
中野屋
照井彦三郎

果物
真綿商
海産物

雞鶉

雞卵　小鳥

右の外諸鳥及び川魚類貫掛仕候

間御賜求偏ニ奉希上候也

果物

南都百合

大阪貴所

盛岡古鉈屋町百七十六番戸

佐藤才吉

鉈屋町

平巢平巢吉

安倍館附近

市ノ西方里許北上川ノ右岸絶壁ノ所ニ老杉蓊鬱トシテ晝尚暗キ處今猶ホ外濠ノ趾ヲ存スルアリ間ハスシテ一個ノ城地タルヲ知ルニ足ル彼ノ有名ナル前九年ノ戰ニ遂ニ八幡將軍ノ武略ノ下ニ亡ヒタル安倍貞任カ居城厨川ノ柵トハ即チ是ナリ里人之ヲ安倍館ト云フ平泉ノ亂ニ藤原泰衡逃レテ之ニ入リ遂ニ又下ル時ニ源頼朝工藤小次郎行光ニ與ヘテ之ニ居ラシム子孫栗谷川氏ト稱ス本城ヨリ西一里許リニシテ嫗屋敷ト呼フアリ陸奥話記ニ見ユル嫗戸カ柵ノ舊跡ニシテ厨川柵ト相待ツテ要害ノ地ナリシ所ナリ又其南ニ方八丁八幡堂里館中屋敷阿彌陀堂等ノ諸舊跡アリ方八丁ハ義家ノ兵ヲ屯シタル所ニシテ今尚土居ノ趾ヲ存セリ八幡宮ノ祭日ハ八月十五日庚平五年源頼義ノ勸請スル所ナリ里館ハ雫石古川南川ニ沿ヒタル高丘ニシテ本柵ノ牙城ナリ中屋敷ハ義家ノ捕虜ヲ置カレシ所及ヒ伊達次郎切腹ノ所ナリ阿彌陀堂ハ大同年間建設セラレシモノニシテ佛像ハ慶雲ノ作ナリト云フ其西ニハ敢見森アリ今是ヲ狐森ト云フ監獄署ノ在ル所ナリ附近ニ上堂蛇嶋等ノ名勝アリ

盛岡城

市ノ中央丘阜ヲナシ老樹鬱蒼タル所是レ盛岡ノ城趾ナリ（元不來方城ト稱ス）南部侯居城トナセシヨリ今ヲ距ルコト幾ント三百年今ヤ城櫓ハ毀テリト雖トモ石壘ノ跡猶ホ依然トシテ古態ヲ存セリ四周ニハ古杉蔚然トシテ天日ヲ蔽フ皆數百年ノ星霜ヲ經タルモノナリ内濠ヲ以テ城域ヲ限ルノ跡歴々徴スヘシ多クハ乾濠ニ屬ス然レトモ間々水淺キ所アリテ蘆浦等叢生セリ稍々深キ所アリテ鯉鮒多ク群ヲナセリ丘山ニ登臨スレハ古杉翁鬱トシテ眼界ヲ遮キリ遠望ノ景ニ乏シト雖トモ深邃幽雅尤モ愛スヘシ今ヤ盡ク荒廢シ委シ去リ舊時ノ觀ナシ狐狸雀鴉ノ巢窟ト化シ蒼苔蔓蘿ノ間ニ沒セラルヽノ光景轉タ懷古ノ情ニ堪ヘサル者アリ

當時此城ヲ區劃シテ本丸（淡路丸又ハ南館ト稱ス）二ノ丸、三ノ丸、トナセリ網御門鳩御門車御門アリ附近ニハ鶴ケ池龜ケ池御田屋清水昆沙門ノ淵慶善館ノ名跡アヲ慶善館ハ元ト八戸彌六郎氏ノ邸宅ナリ追手先一帶ノ區域ニシテ其以前ハ福士伊勢入道慶善ノ邸宅ナリ南館ニ對シテ北館トモ云ヒシトソ

荒物商

盛岡市紺屋町二十八番戸

㊈ 澤井屋 森九兵衛

一和漢洋藥品
一醫療器械品
一各國高名賣藥
一繪の具染料
一高等化粧品

㊇ 盛岡市紺屋町 大島常次郎 屋號 わかや

一國産烟草製造業

一内外國烟草仲買業 ㊀ 盛岡市紺屋町 村田元十郎

一紙類 蠟商 屋號 惠島屋

旅人宿

荒物商

九戸御定宿 諸國商人宿 盛岡市紺屋町 吉田與八

其他各府縣牛馬商人ノ定宿

干菓子諸種

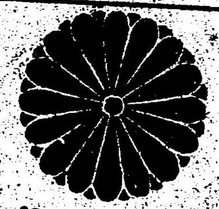
菓子。パン諸種 菓子製造 盛岡市紺屋町 伊東勝治

麥落鳫

右各品小賣物製造元ニ御座候間大勉強安價ニ差上可申候也

褒状之寫

第四回内國勸業博覽會褒狀



褒狀

岩手縣盛岡市紺屋町　　眞綿　　常川萬造

下

審査官　佐々木清七㊞　　平田專太郎㊞　　飯田新七㊞　　前田正名㊞

審査部長正四位勳四等　　審査總長正三位勳二等　九鬼隆一㊞

審査總長ノ申告ヲ領ン茲ニ之ヲ授與ス

明治廿八年七月十一日　總裁大勳位彰仁親王㊞

明治廿八年第四回内國勸業博覽會ニ於テ上記褒狀ヲ授與相成候ニ付江湖愛顧諸彦ニ謹告ス不相替御引立奉願上候

盛岡市紺屋町

丁 常川萬藏

國産改良眞綿製造

養蠶物類

製絲器械附屬品一式

南部竹籠類

京都製柳行李

荏油製造

津輕名産蔓細工籠類

萬荒物商

刀劍書畫
潰金銀蒔繪
骨董類

盛岡市紺屋町十二番戸

小田島德太郎

一生菓子　一洋譲
一甘納糖　一パン類
一柏庭羅　一落鴈類
一煎餅類

盛岡市紺屋町八十四番戸
菓子製造人

平野清次郎

右之外法事菓子並に打物御膳盛等何分安價に賣上候間御用向多少に不拘被仰付度奉希候也

呉服
太物
古着

商分

盛岡市川原町
泉屋
大信田勇八

正札掛直ぬし

MISSING

清酒販賣

商

堺岡市川原町

佐々木德次郎

材木
小割商
板類

盛岡市川原町木場
中野材木商店
外川又藏

專賣特許大根細切機

壹個直段金參拾五錢

抑々此の器械の便利あふ事は先以て大根を切るを第一とし壹時間に五斗十時間に五石全く切る事妙なり其外にんじん、ごぼう又はさつまいも乃類も切る事妙なり此の細切機使用方は壹度使用の後は洗ふて置くへし若しも不洗して用ある時は庖刀並に歯針くさり壹ヶ年も使用そるとなたは故に前陳の如く使用の度事能々洗ふて使用する時は殆と三ヶ年間も全く請合使用そるに確實也

盛岡市川原町百五番戸
出張所
廣益社

右者大橋龜吉發明に相成候器械を廣益社に於て廣く販賣仕候間何卒四方の諸君御購求御使用之程奉願上候也

海産物委
托販賣所

盛岡市川原町
合資會社出張店
利 伊藤安太郎

其他海陸物産ニ關スル商業ヲ廣ク營ミ候間四方ノ諸君御
用向被仰付度奉願上候以上

百八ノ二

金銀銅牙
玉石水牛
各種精良

印判彫刻

盛岡市川原町
鈴江四郎佐

諸國旅人宿

盛岡市川原町
木 高橋判助

百九

各萬小間物
婦人化粧道具
特國日傘雨傘類
木地ノ各種
有名萬骭物類
外各種
產海ホヽツキ
商爲松本與兵衛
岩手縣盛岡市馬町
屋號
夫レ商業ノ務タル十各位諸君ノ御便利ヲ計ルヲ以テ第一トスルガ
安賣仕候間何卒四方ノ諸君陸續御購求アランコヲ乞フ

馬町掫場

世ニ伯樂アリテ千里ノ名馬出ツ千里ノ名馬アレモ伯樂ナキ時ハ麒北ノ馬群モ爲メニ空シヽトソ今ヤ文明ノ世ニ遭遇シテ兩ナカラ全キヲ得タルハ豈慶事ニアラスヤ我南部ハ古來產馬ノ麒北ニシテ將名馬ノ淵叢ナリ磨墨池月モ曾テ此ノ地方ヨリ產出セシト云ヘリ馬町ニ掫駒場アリ農家ノ畜フ馬匹及ヒ外山御料牧場葉水牧場茨嶋牧場ニ於テ年々產出スル馬匹悉ク茲ニ集ル此時ニ際シ各府縣ヨリ入込馬商人頗ル多シ殊ニ近年各師團ヨリ軍吏ヲ派遣セラレテ千里ノ良馬ヲ求ムル每年數百頭而モ馬群遂ニ空シカラス年ヲ逐フテ益繁盛ニ趨カントス南部馬ノ名空シカラスト云フヘシ倩ラ嘗テ聞ク薩長ハ煙草ト人物ノ產ヲ以テ天下ニ誇ルト我南部ハ當サニ良馬ノ產ヲ以テ天下ニ誇ルヘシ因ニ云フ今回日清戰爭ニ際シ其筋ノ調査ニ依レハ能ク戰鬪ニ耐ヘ寒氣ニ屈セザル者ハ南部產ノ者ハ最モ其多キニ居レリト

峯壽院開僧ハ壽綿ト稱シ二井園城寺ノ長吏京都聖護院家若王子末寺ナリ三十二代南部利幹公掫駒繁殖ノ爲メ祈願所トナス仍テ今ニ至ル迄崇信スル者多シ祭日ハ六月十九日ナリ

下斗米大作碑

下斗米大作名將眞字子誠形水ト號ス天資勇悍世々南部侯ニ仕ヘテ能ク大義ヲ辨ス曾テ津輕氏ヲ伐タント欲シテ果サス遂ニ江戶ニ刑セラルモノアリ性狡黠津輕世主ト詐リ上京シテ近衛關白ニ鐵入シ杏葉ノ徽章ヲ拜領シ藤原氏ノ末裔ト稱シテ豐大閤ニ謁シ本領安堵ノ朱印ヲ受ケ津輕ヲ押領セリ於是乎南部侯ノ臣子タルモノ皆空シク怨涙ヲ飮ミ慷慨堪フル能ハス利用公ノ時津輕越中守從四位侍從トナル公幼弱其班愛カニ津輕氏ノ下ニ在リ將眞憤懣措ク能ハス其門弟關良助等ト謀リ津輕氏ノ歸國ヲ要シ退隱ヲ進ス藩威ヲ示サント欲ス其徒大吉忽チ反心シテ津輕氏ニ告ク仍テ全キヲ得テ城ニ歸ルヲ得タリト將眞之ヲ察セス矢立峠ニ要擊シテ果サス遂ニ其妻子及良助ヲ携ヘテ江戶ニ奔リ相馬大作ト僞稱シ以前授ケル所ノ門弟ヲ集メ刀槍火術ヲ教授ス幕府津輕氏ノ囑托ヲ受ケ將眞等ヲ捕ヘテ之ヲ誅ス其刑ニ處セラルヽヤ門人等屍ヲ乞フテ淺草常隨寺ニ葬ル此ニ碑ヲ立ツ年二十四實ニ文政五年八月二十九日也一子アリ勝之助ト云フ津輕氏之ヲ索ムル急ナリ本所妙緣寺ノ僧日脫豪俠ニシテ能ク人ノ窮ヲ恤ム是以テ亦之ヲ救フ勝之助削髮シテ僧トナリ後藩ニ歸ル藩侯將眞ノ忠烈ナルヲ稱揚シ感恩寺ヲ小高ニ建テ以テ之ヲ祭ル日淳是ナリ明治二十五年阿部重吉氏外有志ノ士相謀リ碑ヲ建テ遙ニ其英魂ヲ吊ス

辭世

いさゝかは吹けよ仆さは仆せ秋嵐心の山をさらして仆さん

馬匹營業人　盛岡市馬町

松本勘次郎

有功二等賞明治廿八年内國博覽會ニ於テ
授與セラル

名酒梅正宗
名滝岩手川
清酒
焼酎
白酒

醸元

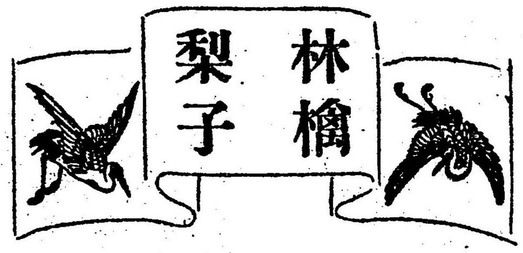
盛岡市仙北町組町
永井屋
梅澤宇八

青物
乾物
果物

商人

盛岡市生姜町

大信田與八



栽培元

盛岡市外仙北町

大澤善治

右者梨子林檎苗賣捌致候間御望ノ
御方樣ニハ賣上候間何卒陸續御購
求被下度偏ニ奉願上候以上

第一回嚴手酒類品評會ニ於テ壹等賞授與セラル

藤正宗

第二回嚴手酒類品評會ニ於テ賞狀授與セラル

藤の井

燒酎

白酒

味淋酒

盛岡市仙北町

濱田屋

關口藤右衛門

○茶釜鉄瓶風呂花瓶廣告

右內外博覽會出品ニ付賞狀一覽

明治十三年五月岩手縣第二回勸業博覽會ニ於テ一等賞狀

明治十三年九月宮城縣博覽會ニ於テ精功褒狀

明治十四年六月第二回內國勸業博覽會ニ於テ三等有功賞牌

明治十七年六月京都府博覽會ニ於テ褒狀

明治十七年六月岩手縣勸業博覽會ニ於テ三等賞牌

明治廿六年米國コロンブス世界大博覽會ニ於テ優等褒賞

岩手縣盛岡生ノ町廿九番戸

釜師 高橋萬治

國產鐵瓶製造賣捌所

明治廿三年第三回內國勸業博覽會ニ於テ褒狀ヲ受ク

明治廿六年コロンブス世界博覽會ニ於テ優等ニ付賞牌ヲ受ク

明治卅年香川縣第四回內國ヶ谷品縱覽會ニ於テ有功賞狀ヲ受ク

右弊店鐵瓶ノ外ニ各商工ノ製造ニ係ル鉄瓶モ販賣仕候間四方ノ

諸君多少ヲ不論御購求ヲ願上候最モ南部名產ノ鉄瓶ナレハ各府

縣ヨリ御注文ニ應ジ可申且何分吟味ノ上廉價ニ賣上候間陸續御

注文被仰付度偏ニ奉願上候頓首

岩手縣盛岡市生姜町三十二番戶

雫南部藩御鑄物師

鈴木德之助

小間物荒物
ゆどん油
鐵瓶商

盛岡市生ヶ町三十四番戶
伊勢屋
藤原長兵衛

駄類
下履組附
草鼻緒類
商

盛岡市生ヶ町
(一カ)
川島熊太郎

春は

夏の涼よ多乃雪四季の眺を揃へたる

秋は

公園内よ於て精鮮の材料よ注意の風

味を加へ御誂に應し候得は一層の御

引立を願ふ者は日本料理西洋料理と

も御好次第に調進し

仕出大勉強の

丸竹

牛乳搾取販賣所

盛岡市内丸四十三番戸

但シ乳牛ハ洋牛短角種及アイサ雜種並ニ改良種數十頭牧畜致置候間御所望

御方ニハ何分廉價ニ差上候間陸續御購求ノ程奉願上候也

滋成舍

盛岡市内丸公園地
耕珠堂
高橋信三郎

盛岡市内丸公園地
改良
早取寫眞專門
山屋昌二郎

内丸洪鐘

内丸鐘樓ハ元日影門外小路土手蔭ニ在リ延寶七年十一月鋳山ニ之ヲ鑄造セリト云フ高サ六尺七寸徑四尺余周圍一丈貳尺五寸厚サ五寸重量千貳百貫目余アリ當時鐘樓高ク聳エ其音響鐘鏘遠ク三里四方ニ及ヘリト云フ明治七年内丸ニ移セリ爾來響聲漸ク衰ヘ亦舊時ノ如クナラス殊ニ現今ノ位地ハ以前ニ比スレハ甚不適ナリト云フ往時洪鐘ヲ鑄サル已前ハ城内大広堂ニ巨大ナル大鼓ヲ備ヘ以テ時間ヲ市中ニ報シタリト云フ内丸ハ盛岡城ヲ圍繞シタル一廓内ノ總稱ニシテ中ノ橋ヨリ日影門ニ至ル三百九十間中ノ橋ヨリ追手先門迄貳百三十貳間ノ塲處ヲ云フ藩政ノ時ハ八日町本町紙町日影門外小路大澤川原ヲ通シテ盡ク溝池ヲ穿チ堤防アリ升形アリ見付門アリ頗ル嚴重ニシテ濫リニ常人ノ通行スル能ハサル處ナリ本町ニ在ル追手先門ト云ヒ北ハ日影門ト云ヒ南ハ鍛冶屋門ト云ヒ東ハ中ノ橋門ト云フ鶴ケ池龜ケ池ノ中間ニ在リ最嚴重ナル見附ヲ有シ衣冠刀槍シテ登城スルモノナシ門ノ北ハ新丸ナリ現今中學校ノ裏面ハ元御倉ニシテ新御倉ハ公園地ノアル處ナリ廳ハ廣小路殿ノアル處ニシテ不來方町ハ公園地ノアル所ナリ縣納ノ第二石鳥居ハ實ニ此ニ出ツルト云フ石間ハ花崗石ノ産地ニシテ八幡宮ニ奉因ニ誌ス縣社第一ノ石鳥居ハ斗米部稻荷社内ヨリ出ツルト云フ

白瀧附近

白瀧ハ簀川ノ東岸ニアリ市ヲ去ル殆ソト里余宮古街道ヨリ左ノ山ニ入ルコト十町許ニシテ即チ瀧ニ達ス或ハ天滿宮ノ社前ヲ過キテ之ニ達スルヲ得ヘシ瀧ノ高サ凡ソ四丈水岩ニ激シテ白霧ノ散スルカ如ク之ヲ遠望スレハ恰モ素練ヲ垂ルヽカ如シ實ニ白瀧ノ名ニ背カスト云フヘシ之ヲ男瀧ト云ヒ之ヲ女瀧ト云フコト丈余絹絲ヲ束ヌタルカ如シ之ヲ白絲ノ瀧ト云ヒ之ヲ女瀧ト云フ簀川ノ兩岸總テ佳景ヲ以テ成レリ行人之ヲ唄ヒテ一ニ金勢二ニ疊石石割明神ニ藁田松ト曰フ疊石ハ長拾余間幅五間ニ下ラス表面扁平ニシテ恰モ疊ノ如キヲ以テ此名アリ猶進ムヿ半里撫名戸ノ湯アリ固ヨリ天然ノ鑛泉ニアラサルモ山間幽靜ノ地ニシテ甚タ保養ニ適スルヿ多キヲ以テ垂釣ニ可ナリ近傍ニハ藁田松アリ枝葉蒼々トシテ高ク四方ニ廣カリ唐崎ノ松ニ讓ラズト云フ對岸ニハ智和伎神社アリ祭日ハ三月十六日老若群參スル所ナリ因ニ誌ス白瀧ニ瀧見觀音アリシカ何時ノ頃ニヤ永泉寺ニ遷セシト云フ

勉會席
強即席
衛生御料理

御華客様方之御ひろきを以て日に繁榮仕候仍て尚
此上御料理は勿論器物に至るまで一層注意を加へ
調進仕候間何分御ひろきを願上升
但し折詰出前等も御好に隨ひ調理仕升

盛岡市八幡町

三上亭

○大勉強そば店廣告

久方の天ぷらそばに月見そば天津乙女の吹どぢよ二人まつはあ
闇の内結ぶえにしのおた巻むし人は茶そばよしよふともわしや
もう氣まゝおまゝおそば互におしの海老切よおるまで首尾の上
おんばんめでたいきりと思ひの外そりやらんぎりぢやふと打ち
やとおかめ五もくに山かけて三ッたらざるたしめには春のあり
雪降る頃は鴨おんばんの親子つれ花まきちらす御花主の御好次
第御手輕に有合ものを調理して出前ても預りても差上るものは

盛岡市八幡丁の

山清

會席 即席 筵の雪御料理

御華容樣方の御ひろきを以て日に繁榮仕候
仍而御此上御料理は勿論器物に至るまて一
層注意を加へ調進仕候間何分御ひろきを願
上升

但シ折詰出前等も御好に隨ひ調進仕升

盛岡八幡町坂の上

温泉亭 小西忠次郎

温泉は何時御入浴にも遠慮ありません

軒を揃へし幡街に一際は目立つ門口に十八
公の葉をも青く繁れる枝の程のよきいつ
替はらぬ瀬川やに名をもめで度長吉を御ひ
あき樣は色々ほめたてられし御恩をば
つゝお報えん會席よ料理はうまし即席や出
前仕出しよ如才なく衛生手輕を旨をして安
すねよあけるは主のまことと何卒御引立御來
車あらん事を願上ます

盛岡市八幡町

料理屋

瀬川屋

黄精飴
加壽てら
松の實糖
豆銀糖
うたくり落雁
翁あめ
大白羊煉
最中の月

製造元
盛岡市八幡町三番戸
柏屋
大森辨藏

右之外和洋御菓子奉賣上候

御田屋清水

盛岡古城内新道ノ傍ラニ清水アリ滾々トシテ湧出ス是即チ御蚕屋清水ナリ盛岡市中第一ノ清水ニシテ夏時ハ冷カニ冬時ハ温暖ナリ且大旱ニモ涸ルヽコトナキ稀世ノ靈泉ナリ昔ハ大守ノ御茶ノ水ノミニ供ヘシ者ニシテ維新前迄ハ此所ニ數多ノ丹頂鶴ヲ養ヒ置キシ靈所ナリシガ廢藩ノ際是等ノ鶴ヲ南部駿物ニ賜ヒ其元知行ニ於テ之ヲ飼ハシメラレシト云フ此清水ハ種々ノ病ニ効アリト稱ス其下ニ池沼アリ數多ノ鯉鮒棲息ス其傍ニ小樓アリ鰻ヲ賣ル近頃又浴室ヲ增築セルヲ以テ夏時納涼ノ爲メニ來ル者頗ル多シト云フ

此ノ清水ニ次テ著名ナルモノハ白藤清水、於龜子水、於砂子水、狐子水、山上坂清水、涼源寺ノ清水、小金井水等ナリ

上田覺山

覺山ハ上田組町ノ中央左側ニ在リ頂求寺ト云フ開山ハ念譽上人ナリ寛永年中ノ創建ニシテ本尊ハ阿彌陀佛ナリ往時ハ巨刹ナリシカ何時ノ頃ニヤ祝融ノ災ニ罹リ什物盡ク烏有ニ歸シ今ハ只其形跡ヲ止ムルノミ寺前ニ石像ノ地藏尊ヲ安置セル一宇アリ燒失後住僧此ノ厨子ニ住居セシトソ後世ニ至リ人皆之ヲ尊崇シ阿彌陀佛ナルコトヲ知ル者ナキカ如シ地藏尊ハ祈禱請願大ニ効驗アリトテ遠近ヨリ參詣スル者多シ附近正覺寺雲樹院長町駅上リ坂天神高源寺與力町ー田組町ノ菜莫等ノ名稱アリ

上田組町ハ元來同心屋敷ノ有リシ所ニシテ數組連合シテ住居セリ南部草層表ノ産地ハ實ニ此ノ數組ヨリ出ツト云フ毎戸門口ニ菜莫楹梓子ヲ列植シ夏時成熟ノ美ナル一天爲メニ紅變セシカト怪マル蓋シ此ノ地方ハ土地濕氣ナルノミナラズ多ク鐵分ヲ含メルヲ以テ他ノ果樹ニ適セスト云ヘリ

吳服太物商古着

盛岡市材木町角

近江屋

正札附

三村井勘兵衛

吳服太物商古着

盛岡市材木町

宮田屋

正札附

宮田重治

呉服太物古着商

盛岡市材木町
岩屋
小原嘉兵衛

百三十二

呉服太物古着商

盛岡市茅町
中村屋
母衣岩福太郎

茶石油
砂糖紙類
下菓子類商

右品廉価賣上候間四方ノ諸君御買求ヲ願上候

盛岡市本町六十六番戸
岡田鶴松

百三十三

千代も八千代も芳しく色はかはらぬ松か枝の公園ニ沿ふて流るゝ中
津川上吹き渡る清風にかほる座敷に一猪口の衛生趣好を取揃へ即席
會席別席仕出しをは繁て極々御手輕に料理は流石よし田屋や主は岩
手の里なから偽にはあらぬ本街と皆様方の御評判奉御ひろきにむく
ひん爲め古きを去りて新しき種をそろへき一際の人目よまさる献立
に車の音の絶へぬやう御光來あらん事を願ふになん

盛岡市本町

料理店　**芳田屋**

牛肉賣捌本店　八重樫又藏　盛岡市紙町七十八番戸

牛肉賣捌支店　八重樫又藏　盛岡市紺屋町四十六番戸

牛肉賣捌支店　八重樫又藏　盛岡市十三日町角

但シ諸獣ノ皮御望ノ諸君ニハ何分廉價ニ賣上候間御購求アランコヲ乞フ

御染物所
絹布木綿毛類の小紋
染染染染 手拭袢天 幕幕幕幕 類は
染染染染 梁紋付裾摸様染 更更更更 紗
御好次第如何ナル色ニテモ染上仕候間四方之諸君多少ニ不係陸續御用向被仰付度偏ニ願上候也
盛岡市紙町三番戸
京屋
本祐七

金刀比羅神社

社ハ市ノ北方烏帽夕森ニ在リ一東ノ松樹高ク雲際ニ聳テ観ユル者ハ即チ岡ハスシテ金刀比羅神社タルヲ知レリ昔南部侯ノ臣ニ奥瀬要人ト云フ人アリケリ江戸ニ登リ芝金刀比羅神社ニ詣フテ守護札ヲ受ケ歸國セシガ爾後効驗著シキヲ以テ烏帽ケ森若干頃ヲ購フテ其守護札ヲ祭レリ是レ其神体ナリ俗ニ之ヲ北山金刀比羅神社ト云フ祭典ハ三月十日ナリシカ維新後六月十日ニ改ム此ノ地眺望ニ宜シク春秋散策スルモノ多シ盛岡附近ニ金刀比羅神社ハ元祿年中豊山佐門ト云フ人讃岐國金刀比羅神社ニ詣フテ分魂セシモノナリト云フ三社中ノ古社ナリト云フ

箕石金刀比羅神社ハ元安庭藥師ノ傍ラニ在リシガ隣村箕石ニ氏神ナキヲ以テ安庭村ニ請フテ當村ノ鎮守トナセシト云フ舊四月十日祭典ナリ時候春駛ナルヲ以テ遊覧ノ輩殊ニ多シ

上田堤

堤ハ上田總門外北諸奥街道ニ沿ヒ上田茶屋升形ヨリ半町計リニ在リ端堤中堤上堤ノ三アリ中堤最モ廣大ニシテ恰モ湖水ノ如シ常ニ水色青翠ニシテ藍ノ如シ鯉鮒多ク生息ス是ヲ以テ春夏ノ候釣ヲ垂ルヽモノ絶ヘズ夏時端廣ヲ浮ベテ遊泳ヲ試ムヘシ東方一帯纏稱シテ北山ト云フ點々タル丘陵概子嶺嶋ノ地ナリ斜影ノ地藪菜ヲ生ス之ヲ北山大根ノ産地ナリトス一部ヲ赤山ト云ヒ一本杉ト云ヒ共ニ耕地ニ適セズ西方ハ即チ庚申堂ニシテ舊四月七日ヲ以テ祭日トナス一東ノ新緑叢雲ノ山堤上ニ高ク夕烟ノ中神祠水ニ映ス春夏霧靄堤上ニ滿ツ輕羅衣飛テ指頭崩茅ヲ摘ミ涼舟風ニ揖シテ熱ヲ掃ヒ澄江水湛ノ處秋月浮ヒ脫兎狩リ終リ赤山白醋々タルハ是四季ノ眺望ヲ尽セル觀ナリ加之春時祭典ノ時ハ遊人ノ枝ヲ曳ク者管語濃カニ杜鵑末夕聲低ク閑雅ナル一昧ハ眞ニ是レ一年ノ好時節ナリ附近小金井水小野松觀世音黒石野長坂等ノ名跡アリ

小野松ノ觀世音堂ハ大同年間製作ノ古像ヲ安置シ明治九年車駕北幸ノ際堂前ニ小憩遊ハサレタル書跡アリ

黒石野ハ蛇紋石ノ産ヲ以テ有名ナル處ナリ

歳手名産五品製造元祖

宮内省御用品　松のみ糖

宮内省御用品　盛岡市鍛冶町

かたくり落鳫　長澤屋老舗

はしばみ糖

黄精飴

豆菓子

阿部重吉

百三十七

烟草仲買烟草製造営業

盛岡市鍛冶町

向井屋

㊦長岡半兵衛

百卅九

和洋小間物
石油水油類
砂糖茶

盛岡市四ッ屋町
〈一〉
平野常次郎

陶器商

盛岡市四ッ屋町
〈一〉
平野支店

漢洋藥品
諸名家賣藥
繪具染料

外品々

盛岡市四ッ家町
大豆屋
〈一〉
金田一眞輔

大坂銘酒
岩手川
藤井宗正
藤の
味醂
淋淋
醤油
燒酎
販賣所
盛岡市葺手町五十六番戸
木村金藏

三ツ石神社

三ツ石神社ハ米内村ニアリ維新前ハ社領五十貳石ヲ有セリ曩キニ南部信直公太祖光行公ヲ追尊シ勸請セルモノナリト云フ後利直公社領ヲ寄附セシヨリ祭典一層盛大ナリシトソ高サ凡二丈許リノ大花崗石屹然三個ニ分立シ古色蒼然タリ餓虎ノ風ニ嘯キ白彪ノ雨ニ吼ルカ如シ此レ三ツ石ノ奇景ナリ東顯寺ハ松峰山ト號ス元里東顯寺或ハ内丸ノ石間ニ在リ代々不來方氏ノ菩提所ナリシカ南部利直公築城ノ時三ツ割村ニ移セシトソ里東顯寺ハ往古ノ岩手ノ里ト稱セシ所ナレハ古歌多ク世ニ存ス三石ノ附近ニ大泉寺アリ

匡房公
無名
西行
無名
後二條天皇

さちあしの色とそ見ゆる陸奥の岩手の里の山吹の花
來て見れはくちなし色に咲にけり岩手の里の山吹の花
音に聞岩手の里に來て見れは奥の富士とはあれをいふはし
見ぬ人よ(ん)ゐ、語らん口あしのいわての里の山吹の花
口あしき山吹の花咲よりや名付染けん

亀通山大泉寺ハ齋藤實盛ノ三男右京權頭平朝臣好覺ノ開基ニシテ高倉帝ノ殿上人タリ建暦元年奥州ニ下リ福岡村ニ住シ專立庵ト號ス九戸政實ノ叛スルヤ亂ヲ鹿角ニ避ケ亂平ク後盛岡ニ一宇ヲ建大泉寺靈井院ト稱ス門末ハ廿九ケ寺ヲ有ス當代迄三十一世連綿傳燈シ來レリ寶物ニハ中將姫ノ蓮糸ノ名号祐天僧正累得脫ノ大念珠五條ノ袈裟ちきくノ皿甕磬妙龜ノ遺甲妖怪退治ノ寶鏡其他寶物澤山アリ東顯寺ノ寶物ハ古代地藏尊ノ幅嘗公自作ノ像等ナリ

舟橋八景

八景ノ絶佳タルヤ土村温水氏ノ高吟ニ於テ其妙ヲ含メリ依テ圖解ニ代フ

春　門ノ歸帆　春風やかとの瀬めくる眞帆片帆　夜やすごき音高島の五月雨
　澤田落鴈　友俟や澤田の渡りに鴈の聲　舟橋夕照　舟橋にあつさ流して夕つ久日

夏　盧山秋月　たゝられにふきあけられて秋の月　冬　安庭晴嵐　村雲の晴れてあ庭の小春かな
　圓光晩鐘　入合や鷲のあゝにも圓光寺　岩手山の暮雪　たろかれや空に岩手の峰の雪

改良旅館

諸國旅人宿〆

盛岡市茸手町十四番戸

小田屋

小田代民

右は今般一層改良を加へ清潔を旨とし正實忠御取扱仕候間何卒四方の御客様方當に倍し御愛顧御投宿被下度最る宿引等は一切差出不申候間御含の上何分御投宿奉願上候也

盛岡市茸手町十四番戸

小田屋

小田代民

とうふ
松の美 おしるあ
ぞふ煮

御料理御酒ハ※澤ノ綠

盛岡市茸手町

松の美

會席御料理 七拾錢
特 五拾錢
梅 三拾錢

盛岡市茅町

國產煙草製造販賣商

下山政登

右煙草之義何分實地ニ付葉ヲ精選ノ上製造仕候間四方ノ諸君御需求アラン事ヲ乞フ

蓮表類
賦石問屋
盛岡市茶町五十七番戸
（あび書屋）
江刺家嘉助
百四十六

活版広告御依頼

活版印刷営業廣告

廣告

御名刺
諸帳簿
相場表
用紙
切符手形類
證書類
雑誌
其他一切ノ書物類

右何ニ拘ハラス御好ミ次第精々入念廉價且ツ迅速ニ調製差上可申候間別テ來廿九年一月ヨリハ是迄ノ手續ヲ改良シ一意專心勉强可仕候間四方ノ諸彦何卒一層ノ御眷顧ヲ垂レ賜ハランコヲ希望ス

熊本市内丸
大江活版所
大江哲郎

明治九年十月

明治廿八年十二月三十日印刷
同　廿九年一月三日發行

定價金三拾錢

發行及編輯人　盛岡市穀町五十九番戸　松岡覬次郎
印刷人　盛岡市仁王小路二十八番戸　大江哲
印刷所　盛岡市内丸二十一番戸　大江活版
印刷所　盛岡市内丸三十一番戸　九皐